

4.1.2 水象, 水質, 水底の底質その他の水に係る環境の状況

(1) 水象

1) 河川

事業実施区域周囲の主な河川の概況, 表 4.1.2-1 に示すとおりである。

福岡市内には二級河川以下の中小河川が博多湾に流入しており, 事業実施区域周囲には, 河川延長 5km 以上の二級河川としては宇美川, 須恵川, 御笠川がある。

表 4.1.2-1 主な河川の概況

河川名	河川延長 (m)	流域面積 (km ²)	備 考
宇美川	16,860	71.60	終点: 多々良川への合流点
須恵川	15,010	23.50	終点: 宇美川への合流点
御笠川	23,580	94.00	終点: 博多湾

出典: 「福岡市統計書(平成 27 年版) 第 2 章 土地・気象」(平成 27 年 3 月 福岡市)

2) 湖沼

事業実施区域周囲には湖沼はない。

(2) 水質

1) 河川水質

事業実施区域周囲の河川における水質の測定結果は, 表 4.1.2-2 及び表 4.1.2-3 に示すとおりである。また, 測定地点は図 4.1.2-1 に示すとおりである。

生活環境項目については, 宇美川の御手洗(地点番号 3)と別府橋(地点番号 4)において, 水素イオン濃度(pH)が環境基準を達成していない検体がある。

健康項目については環境基準を達成している。

表 4.1.2-2 河川における水質の測定結果（生活環境項目）

測定地点 (水域名)			類型	区分	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)
1	宇美川	新六高橋	C	最小～ 最大	—	—	0.6～ 1.3	2.3～ 4.7	4～ 12	—	0.62～ 1.6	—	—
				平均	—	—	0.9	3.3	8	—	0.94	—	—
				環境 基準	—	—	5 以下	—	50 以下	—	—	—	—
				m/n	—	—	0/4	—	0/4	—	—	—	—
2	宇美川	新二又瀬橋	C	最小～ 最大	—	—	0.8～ 1.0	2.5～ 4.9	1～ 9	—	0.28～ 1.0	—	—
				平均	—	—	0.9	3.6	5	—	0.6	—	—
				環境 基準	—	—	5 以下	—	50 以下	—	—	—	—
				m/n	—	—	0/4	—	0/4	—	—	—	—
3	宇美川	御手洗	C	最小～ 最大	7.7～ 8.6	10～ 12	0.9～ 3.2	2.2～ 4.6	1～ 9	—	—	—	—
				平均	8.1	11	1.7 [1.9]	3.2 [3.2]	4	—	—	—	—
				環境 基準	6.5 以上 8.5 以下	5 以上	5 以下	—	50 以下	—	—	—	—
				m/n	1/4	0/4	0/4	0/4	0/4	—	—	—	—
4	宇美川	別府橋	C	最小～ 最大	7.7～ 8.6	10～ 12	1.1～ 3.4	2.2～ 4.6	1～ 7	—	—	—	—
				平均	8.1	11	1.9 [1.7]	3.2 [3.1]	3	—	—	—	—
				環境 基準	6.5 以上 8.5 以下	5 以上	5 以下	—	50 以下	—	—	—	—
				m/n	1/4	0/4	0/4	0/4	0/4	—	—	—	—
5	御笠川	金島橋	D	最小～ 最大	7.0～ 7.7	7.7～ 10	0.6～ 2.0	3.6～ 7.3	1～ 7	110～ 7,000	2.7～ 7.5	0.13 ～0.82	0.012～ 0.018
				平均	7.2	9.0	1.2 [1.4]	5.8 [6.5]	2	1,600	5.2	0.40	0.015
				環境 基準	6.0 以上 8.5 以下	2 以上	8 以下	—	100 以下	—	—	—	—
				m/n	0/12	0/12	0/12	-/12	0/12	-/12	-/12	-/12	-/4
6	吉塚新川	堅田橋	—	最小～ 最大	—	—	0.8～ 1.6	2.5～ 6.2	5～ 13	—	0.58～ 1.4	—	—
				平均	—	—	1.3	4.7	8	—	1	—	—
				環境 基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				m/n	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	用水路	榎田公園南側の橋	—	最小～ 最大	—	—	0.8～ 5.7	3.5～ 25	6～ 10	—	0.48～ 3.0	—	—
				平均	—	—	2.2	9.5	9	—	1.2	—	—
				環境 基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				m/n	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注 1) m: 環境基準に適合しない検体数, n: 総検体数。なお、環境基準が適用されない項目については、記載していない。
 注 2) BOD 及び COD の平均欄の [] は、日間平均値の 75%値(年間における日間平均値の全データを、値の小さいものから順に並べたときの 0.75×n 番目(n は日間平均値のデータ数)のデータ値)を示す。

注 3) は、環境基準を適合していない検体がある項目を示す。

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

「平成 26 年度公害関係測定結果」（平成 27 年 2 月 福岡県）

「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 27 年 10 月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

表 4.1.2-3 河川水質の状況（健康項目）

項目		測定地点〔水域名〕
		5
		御笠川 金島橋
カドミウム	最大値	<0.0003
	m/n	0/2
全シアン	最大値	<0.1
	m/n	0/2
鉛	最大値	<0.001
	m/n	0/2
六価クロム	最大値	<0.005
	m/n	0/2
砒素	最大値	<0.001
	m/n	0/2
総水銀	最大値	<0.0005
	m/n	0/2
アルキル水銀	最大値	<0.0005
	m/n	0/2
PCB	最大値	<0.0005
	m/n	0/2
ジクロロメタン	最大値	<0.002
	m/n	0/2
四塩化炭素	最大値	<0.0002
	m/n	0/2
1,2-ジクロロエタン	最大値	<0.0004
	m/n	0/2
1,1-ジクロロエチレン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
シス1,2-ジクロロエチレン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
1,1,1-トリクロロエタン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
1,1,2-トリクロロエタン	最大値	<0.0006
	m/n	0/2
トリクロロエチレン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
テトラクロロエチレン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
1,3-ジクロロプロペン	最大値	<0.0001
	m/n	0/2
チウラム	最大値	<0.0006
	m/n	0/2
シマジン	最大値	<0.0003
	m/n	0/2
チオベンカルブ	最大値	<0.002
	m/n	0/2
ベンゼン	最大値	<0.001
	m/n	0/2
セレン	最大値	<0.002
	m/n	0/2
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	最大値	8.3
	m/n	0/2
ふっ素	最大値	0.15
	m/n	0/2
ほう素	最大値	0.35
	m/n	0/2
1,4-ジオキサン	最大値	<0.005
	m/n	0/2

注 1) m:環境基準に適合しない検体数, n:総検体数。

出典:「福岡市水質測定結果報告書(平成24年度(2012年度)版)」(平成26年1月 福岡市)

2) ダイオキシン類

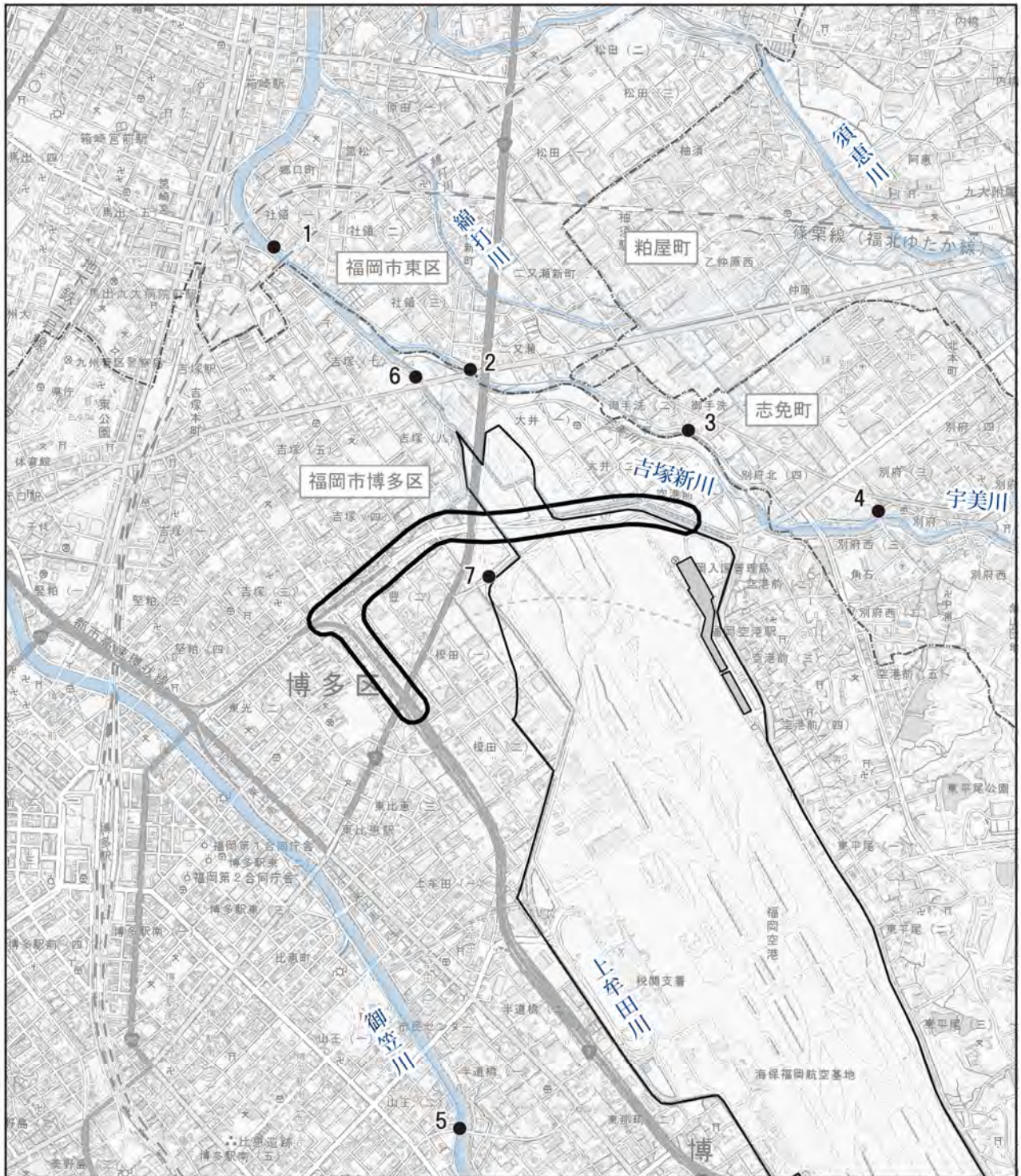
事業実施区域周囲を流れる宇美川と御笠川の平成 26 年度のダイオキシン類(河川水質)の測定結果は、表 4.1.2-4 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

なお、各河川の調査地点は流域全体の状況を把握するため、最下流に位置する環境基準点とされており、測定地点は図 4.1.2-1 の範囲外である。

表 4.1.2-4 ダイオキシン類（水質）の測定結果（平成 26 年度）

測定地点			年平均値 (pg-TEQ/L)	環境基準	環境基準 との比較
-	宇美川	塔の本橋	0.17	1pg-TEQ/L 以下であること。	○
-	御笠川	千鳥橋	0.091		○

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

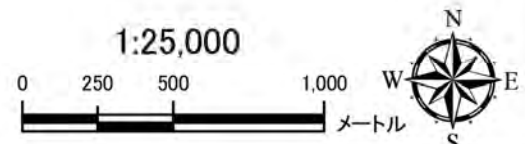


凡 例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 国内線旅客ターミナル
- 福岡空港
- 市町村界
- 区界
- 河川
- 水質測定地点

図 4.1.2-1 水質測定位置図（河川）

出典：「平成26年版公害関係測定結果」（平成27年2月 福岡県）
「福岡空港滑走路増設に係る環境影響評価書」
（平成27年10月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）



(3) 地下水の水位及び水質

1) 地下水の水質の状況

事業実施区域周囲における平成 26 年度の地下水の水質測定結果は、表 4.1.2-5 に示すとおりであり、測定地点は図 4.1.2-2 に示すとおりである。

地下水に関しては、全体的な福岡市の状況の把握を目的とした概況調査と、過去の概況調査等で汚染が確認された地域的な汚染を継続的に監視する継続監視調査が行われている。

調査結果によると、全ての測定地点において概況調査、継続監視調査ともに環境基準を達成している。

表 4.1.2-5(1) 地下水の水質測定結果（概況調査）

単位：mg/L

測定項目	A	B	C	環境基準
	東区松島	東区馬出	博多区東平尾	
調査年度	H26	H24	H26	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
全シアン	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
鉛	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
六価クロム	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
砒素	0.005	0.001	<0.001	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
PCB	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.004 以下
塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.025	0.15	9.8	10 以下
ふっ素	0.5	0.6	0.2	0.8 以下
ほう素	0.75	0.44	<0.02	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
用途	営業用雑用	営業用雑用	家庭用雑用	

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 24 年度（2012 年度）版）」（平成 26 年 1 月 福岡市）
「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

表 4.1.2-5(2) 地下水の水質測定結果（概況調査）

単位：mg/L

測定項目	D	E	F	環境基準
	博多区半道橋	博多区冷泉町	博多区那珂	
調査年度	H25	H24	H26	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
全シアン	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
鉛	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
六価クロム	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
砒素	<0.001	0.003	<0.001	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
PCB	検出されず	検出されず	検出されず	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.004 以下
塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.025	6.9	5.1	10 以下
ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1	0.8 以下
ほう素	<0.02	0.13	0.02	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
用途	家庭用飲用	営業用雑用	家庭用飲用	

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 24 年度（2012 年度）版）」（平成 26 年 1 月 福岡市）
「福岡市水質測定結果報告書（平成 25 年度（2013 年度）版）」（平成 26 年 9 月 福岡市）
「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

表 4.1.2-6 地下水の水質測定結果（継続監視調査）

単位：mg/L

測定項目	1	環境基準
	原田	
六価クロム	－	0.05 以下
四塩化炭素	－	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	<0.0002	0.002 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.0001	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	0.0002	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	1 以下
トリクロロエチレン	<0.002	0.03 以下
テトラクロロエチレン	0.0007	0.01 以下

注) は環境基準を超過していることを示す。

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」
（平成 27 年 11 月 福岡市）

2) ダイオキシン類

事業実施区域周囲におけるダイオキシン類（地下水質）の測定結果は、表 4.1.2-7 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

表 4.1.2-7 ダイオキシン類（地下水質）の測定結果（平成 26 年度）

調査地点名		年平均値	環境基準	環境基準 との比較
		(pg-TEQ/L)		
博多区金の隈	平成 23 年度	0.066	1pg-TEQ/L 以下であること。	○
博多区半道橋	平成 25 年度	0.065		○
博多区那珂	平成 26 年度	0.066		○

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 23 年度（2011 年度）版）」（平成 25 年 1 月 福岡市）
「福岡市水質測定結果報告書（平成 25 年度（2013 年度）版）」（平成 26 年 9 月 福岡市）
「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

(4) 水底の底質の状況

1) 河川底質

事業実施区域周囲の河川における平成 26 年度の水底の底質の測定結果は、表 4.1.2-8 に示すとおりである。また、測定地点は図 4.1.2-1 に示すとおりである。

底質の暫定除去基準（昭和 50 年 10 月 28 日 環水管第 119 号 最終改定昭和 63 年環水管第 127 号）に定める物質である総水銀及び PCB は、基準値を下回っている。

表 4.1.2-8 水底の底質の測定結果

測定項目	測定地点	5
		御笠川
		金島橋
pH	(—)	7.7
COD	(mg/g)	<0.5
乾燥減量	(%)	22
強熱減量	(%)	0.6
硫化物	(mg/kg)	1
有機炭素	(mg/g)	0.5
全窒素	(mg/kg)	180
全りん	(mg/kg)	90
カドミウム	(mg/kg)	<0.05
シアン	(mg/kg)	<1
有機りん	(mg/kg)	<1
鉛	(mg/kg)	2.6
総クロム	(mg/kg)	7
六価クロム	(mg/kg)	<2
ひ素	(mg/kg)	0.8
総水銀	(mg/kg)	0.01
アルキル水銀	(mg/kg)	<0.01
PCB	(mg/kg)	<0.01

注 1) pH, 乾燥減量, 強熱減量以外は乾燥固形物当たりの濃度。

注 2) 暫定除去基準値は、総水銀 25mg/kg 以上, PCB10mg/kg 以上である。

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

2) ダイオキシン類

事業実施区域周囲を流れる宇美川の平成 26 年度の日オキシソ類（河川底質）の測定結果は、表 4.1.2-9 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

なお、各河川の調査地点は流域全体の状況を把握するため、最下流に位置する環境基準点とされており、測定地点は図 4.1.2-1 の範囲外である。

表 4.1.2-9 ダイオキシン類（河川底質）の測定結果（平成 26 年度）

測定地点			年平均値 (pg-TEQ/g)	環境基準	環境基準 との比較
－	宇美川	塔の本橋	0.35	150pg-TEQ/g 以下であること。	○

出典：「福岡市水質測定結果報告書（平成 26 年度（2014 年度）版）」（平成 27 年 11 月 福岡市）

4.1.3 土壌及び地盤の状況

事業実施区域周囲の土壌の分布状況（土壌図）は、図 4.1.3-1 に示すとおりである。

事業実施区域周囲は、市街地その他がほとんどであり、都市計画対象道路事業実施区域の東側の丘陵地に乾性褐色森林土や褐色森林土が分布している他は、灰色低地土壌が点在している。

また、事業実施区域周囲において「土壌汚染対策法」（平成 14 年 5 月法律第 53 号）に基づく特定有害物質によって汚染されている区域が指定されている。その指定状況は表 4.1.3-1 に示すとおりである。

表 4.1.3-1 特定有害物質による区域の指定状況

整理番号	指定年月日	指定番号	特定区域 の所在地	指定区域 の面積	指定基準に適合しない 特定有害物質
整-16-1	平成 17 年 3 月 14 日	形-1 号	博多区博多駅南 5 丁目 83 番 2	264.46m ²	六価クロム化合物

出典：「要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定状況」（福岡市ホームページ、
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/index.html>）

また、「平成 26 年度 全国の地盤沈下地域の概況」（平成 27 年 12 月 環境省 水・大気環境局 <http://www.env.go.jp/water/jiban/gaikyo/gaikyo26.pdf>）によると、事業実施区域周囲においては地盤沈下の影響は見受けられない。

なお、事業実施区域周囲におけるダイオキシン類に関する土壌の測定結果は、表 4.1.3-2 に示すとおりである。全ての地点において環境基準を達成している。

表 4.1.3-2 ダイオキシン類測定結果

単位：pg-TEQ/g

年度	調査地点名		測定値
22	博多区大井	大井中央公園	0.16
22	博多区東光寺	東光寺公園	0.25
24	博多区堅粕	吉野公園	0.025
24	博多区空港前	上臼井公園	0.53

注）環境基準は、1,000pg-TEQ/g 以下。

出典：「福岡市水質測定結果報告書 平成 22 年度(2010 年度)版」
(平成 24 年 1 月 福岡市)
「福岡市水質測定結果報告書 平成 24 年度(2012 年度)版」
(平成 26 年 1 月 福岡市)



4.1.4 地形及び地質の状況

(1) 地形

事業実施区域周囲の地形分類は、図 4.1.4-1 に示すとおりである。

事業実施区域周囲は、福岡県の北西部に位置し、福岡平野が広がっている。都市計画対象道路事業実施区域の東側には丘陵地があるが、扇状地、三角州等の平野、砂礫台地、自然堤防等が大部分である。

(2) 地質

事業実施区域周囲の表層地質は、図 4.1.4-2 に示すとおりである。

福岡県は中部地方から紀伊半島、四国を経て九州へ至る中央構造線の北側に位置し、西日本内帯に属する。事業実施区域周囲は大部分が沖積層の砂・泥・礫である。その他、砂岩・シルト岩、黒雲母花崗岩が丘陵地に見られる。

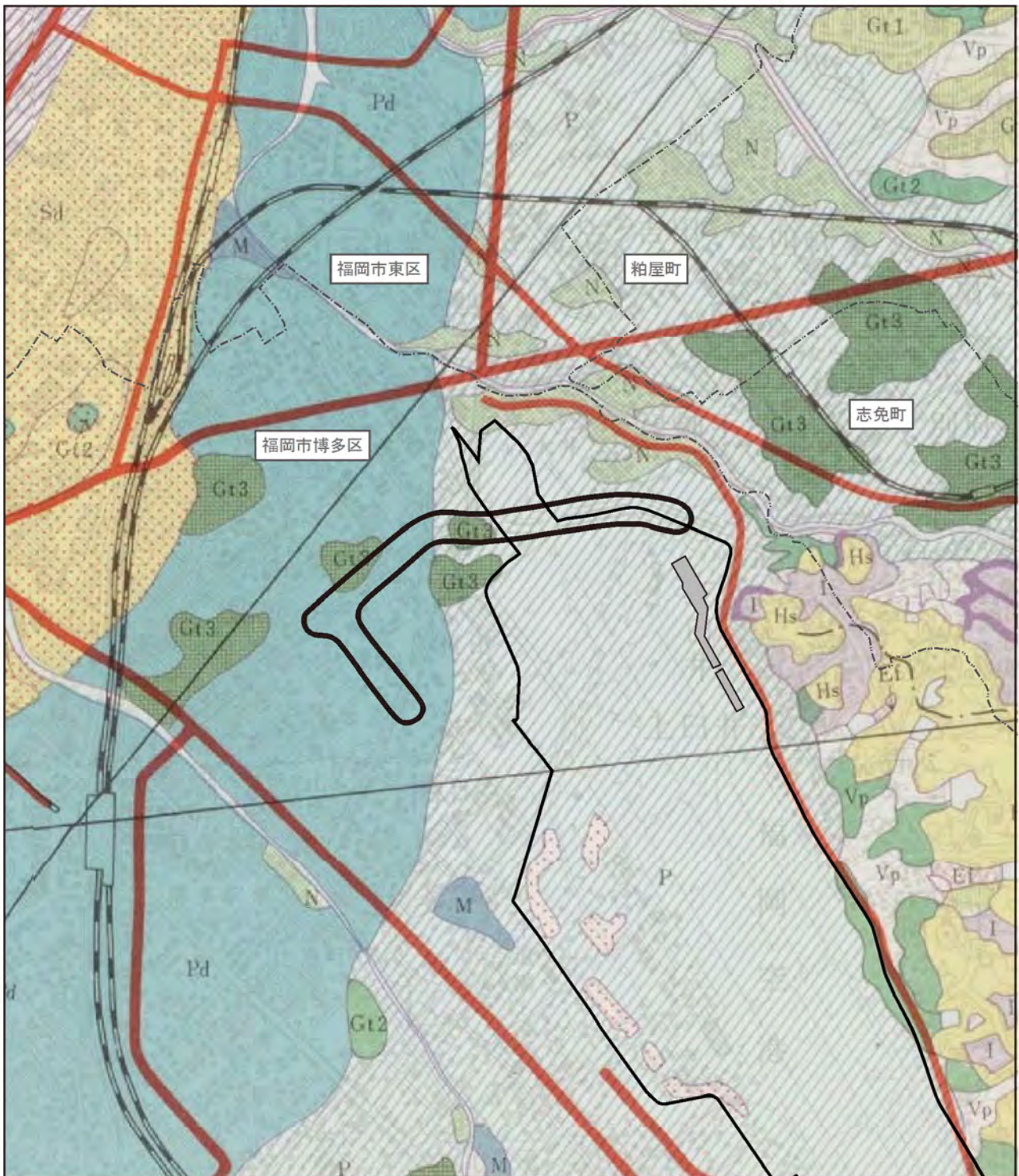
なお、活断層詳細デジタルマップ（平成 14 年 5 月 東京大学出版会）及び活断層データベース（平成 28 年 4 月現在 産業技術総合研究所）によると、調査区域においては活断層は分布していない。

(3) 重要な地形・地質等

事業実施区域周囲において、表 4.1.4-1 に示す学術上又は希少性の観点から選定された重要な地形及び地質はない。

表 4.1.4-1 重要な地形及び地質の選定基準

選定基準	
①	「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月法律第 214 号）に基づく国の天然記念物・特別天然記念物
②	「福岡県文化財保護条例」（昭和 30 年 4 月 1 日条例第 25 号）に基づく県の名勝・天然記念物
③	「福岡市文化財保護条例」（昭和 48 年 3 月福岡市条例第 33 号）に基づく市の名勝・天然記念物
④	「日本の地形レッドデータブック第 1 集（新装版）－危機にある地形－」（平成 12 年 12 月 小泉武栄，青木賢人）において指摘されている地形及び地質
⑤	「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 福岡県」（平成元年 環境庁）において自然景観資源として掲載されているもの



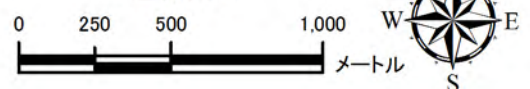
凡 例

 : 都市計画対象事業実施区域 : 国内線旅客ターミナル : 福岡空港
 : 市町村界 : 区界

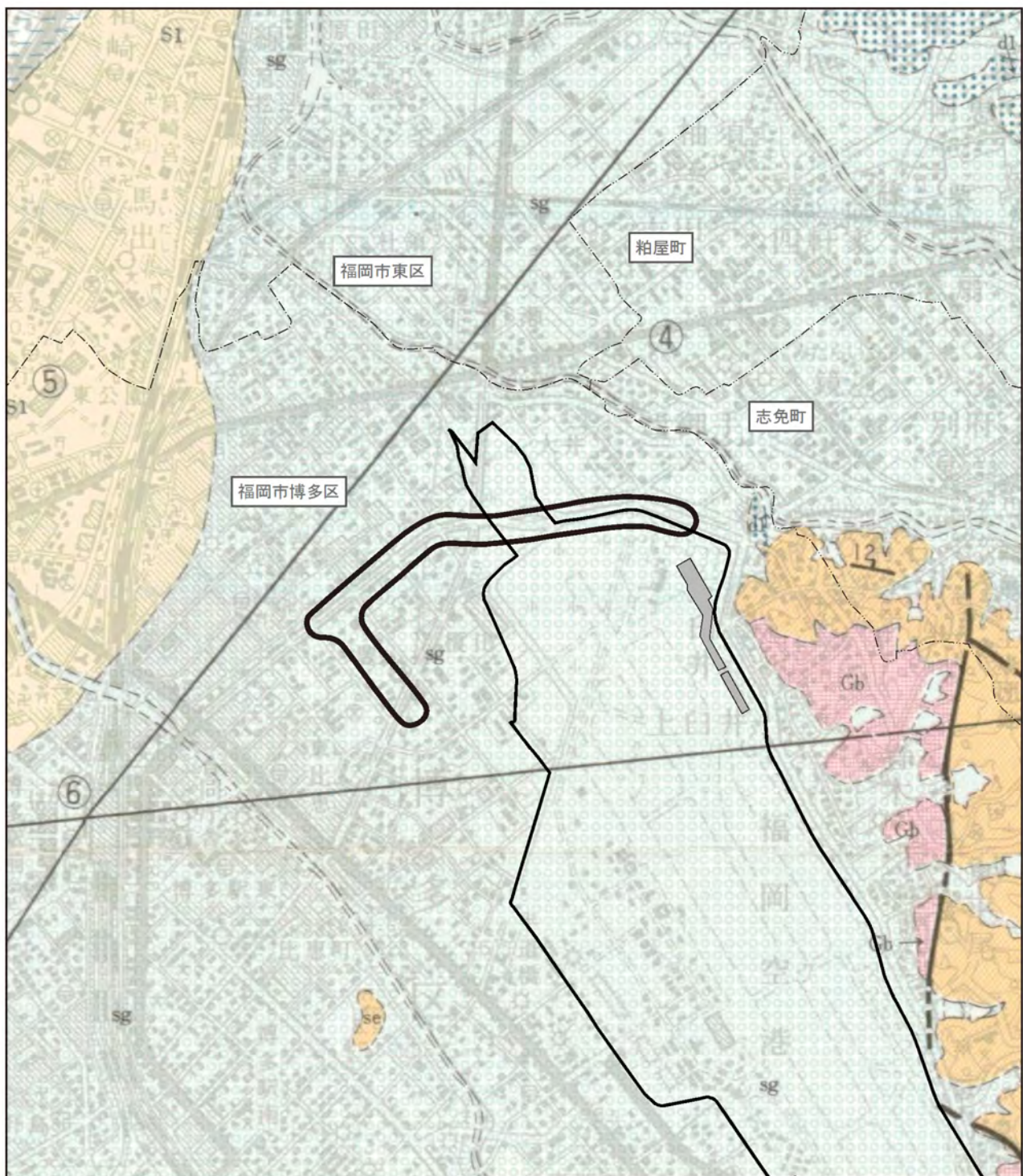
【丘陵地】 丘陵地 II (起伏量100m以下)	Hs	【低地】 土石流堆積面	Ef	【その他】 池、河川		主要分水界	---
【台地】 砂礫台地 I (中~高位段丘)	Gt1	谷底平野	Vp	人口改変地 (宅地碎石)	I	国道	—
砂礫台地 II (低位段丘)	Gt2	平野 (扇状地)	P	人工盛土		主要地方道	- - -
砂礫台地 III (低位段丘)	Gt3	平野 (三角洲)	Pd	埋立地		地形界	—
		自然堤防	N	崖面			
		湿地、旧河道、河道	M				
		海浜砂丘、砂浜	sd				

図 4.1.4-1 地形分類図

1:25,000



出典:「土地分類基本調査図(地形分類図)」(昭和59年3月 福岡県)

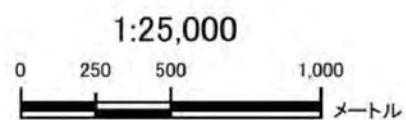


凡例

- :都市計画対象事業実施区域
 :福岡空港
 :国内線旅客ターミナル
 :市町村界
 :区界

- | | | | |
|--|-----------------------------|-------------------------------------|-------|
| ne | 砂・泥・礫
(沖積層) | △ | 主要水ヶ山 |
| S1 | 砂
(海浜砂層・砂丘砂層) | ▽ | 走行・傾斜 |
| dl | 礫・砂・粘土
(低位段丘面構成層) | — | 断層 |
| sg | 砂岩・シルト岩
(含礫岩・凝灰質シルト岩・石灰) | ● | 温泉 |
| Gb | 黒雲母花崗岩
(角閃母花崗岩を含む) | | |

図 4.1.4-2 表層地質図



出典:「土地分類基本調査図(表層地質図)」(昭和59年3月 福岡県)

4.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物

1) 哺乳類

事業実施区域周囲における哺乳類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-1 に示すとおりであり、5 目 7 科 8 種の哺乳類が確認されている。重要な種はニホンアナグマが確認された。

表 4.1.5-1 事業実施区域周囲の哺乳類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書				選 定 基 準				
				①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	モグラ目	モグラ科	コウベモグラ	●	●	●	●					
2	コウモリ目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	●			●					
3	ネズミ目	ネズミ科	ハツカネズミ				●					
-			ネズミ科		●							
4	ネコ目	イヌ科	ホンダタヌキ	●			●					
5		イタチ科	イタチ属	●	●	●	●					
6			ニホンアナグマ				●					掲載種
-			イタチ科			●						
7		ネコ科	ノネコ				●					
8	ウシ目	イノシシ科	ニホンイノシシ		●	●						
計	5目	7科	8種	4	4	3	7	0種	0種	0種	0種	1種

●印は、注 1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注 1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
- ②「平成 19 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 20 年 3 月 福岡市環境局）
- ③「平成 24 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 25 年 3 月 福岡市環境局）
- ④「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 27 年 10 月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注 2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種
環 RL：「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月 環境省）
県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011 -植物群落・植物・鳥類・哺乳類-」（平成 23 年 11 月 福岡県）
市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

2) 鳥類

事業実施区域周囲における鳥類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-2 に示すとおりであり、12 目 35 科 104 種の鳥類が確認されている。重要な種はカンムリカイツブリやオオヨシキリ、キビタキ等の 24 種が確認された。

表 4.1.5-2 (1) 事業実施区域周囲の鳥類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報告書			選定基準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ		●	●					
2			カンムリカイツブリ		●					NT	掲載種
3	ペリカン目	ウ科	カワウ		●	●					
4	コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ		●	●					
5			ササゴイ			●				NT	
6			アカガシラサギ			●					
7			アマサギ			●				NT	
8			ダイサギ			●					
9			チュウサギ	●		●			NT	NT	掲載種
10			コサギ		●	●					
11			アオサギ		●	●					
12	カモ目	カモ科	オシドリ		●				DD	NT	掲載種
13			マガモ		●	●					
14			カルガモ		●	●					
15			コガモ		●	●					
16			トモエガモ		●				VU	VU	掲載種
17			オカヨシガモ		●						
18			ヒドリガモ		●						
19			オナガガモ		●						
20			ハシビロガモ			●					
21			ホシハジロ		●						
22	タカ目	タカ科	ミサゴ		●	●			NT		掲載種
23			ハチクマ		●	●			NT	NT	掲載種
24			トビ		●	●					
25			ハイタカ			●			NT		掲載種
26			ノスリ		●	●				NT	
27		ハヤブサ科	ハヤブサ		●	●		国内	VU	VU	掲載種
28			チョウゲンボウ			●					
29	ツル目	クイナ科	ヒクイナ		●	●			NT	NT	掲載種
30			バン		●	●					
31	チドリ目	チドリ科	コチドリ			●					
32			ケリ	●					DD	NT	掲載種
33			タゲリ			●				NT	
34		シギ科	クサシギ			●					
35			キアシシギ		●						
36			イソシギ		●						
37			タシギ			●					
38			シギ科			●					
39		カモメ科	ユリカモメ		●						
40			セグロカモメ		●	●					
41			オオセグロカモメ		●						
42	ハト目	ハト科	ウミネコ		●						
43			ドバト	●	●	●					
44			キジバト		●	●					
45			アオバト	●	●						掲載種
46	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ		●						掲載種
47	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ		●	●					
48	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ			●					
49			コゲラ	●	●	●					
50	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ			●					
51		ツバメ科	ツバメ		●	●					
52			イワツバメ		●	●					
53		セキレイ科	キセキレイ		●	●					
54			ハクセキレイ	●	●	●					
55			セグロセキレイ			●					
56			タヒバリ			●					
57		サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ		●						
58		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	●	●	●					
59		モズ科	モズ		●	●					
60		レンジャク科	ヒレンジャク	●							
61		ミソサザイ科	ミソサザイ		●						
62		ツグミ科	コルリ		●					EN	
63			ルリビタキ		●						
64			ジョウビタキ		●	●					
65			ノビタキ		●	●					
66			イソヒヨドリ		●	●					
67			アカハラ		●						
68			シロハラ		●	●					
69			マミチャジナイ		●						
			ツグミ		●	●					

表 4.1.5-2 (2) 事業実施区域周囲の鳥類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
70	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ		●						
71			ガビチョウ		●						
72		ウグイス科	ウグイス	●	●	●					
73			オオヨシキリ	●	●	●				NT	掲載種
74			キマユムシクイ		●						
75			エゾムシクイ		●	●					
76			センダイムシクイ		●	●				VU	
77			キクイタダキ		●						
78			セッカ			●					
79		ヒタキ科	キビタキ	●	●	●					掲載種
80			オオルリ	●	●					NT	掲載種
81			エゾビタキ		●						
82			コサメビタキ		●					DD	
83		エナガ科	エナガ	●	●	●					
84		ツリスガラ科	ツリスガラ			●				NT	掲載種
85		シジュウカラ科	ヤマガラ	●	●	●					
86			シジュウカラ		●	●					
87		メジロ科	メジロ	●	●	●					
88		ホオジロ科	ホオジロ		●	●					
89			ホオアカ			●					
90			カシラダカ			●					
91			アオジ		●	●					
92			クロジ		●						
93			オオジュリン			●					
94		アトリ科	アトリ		●						
95			カワラヒワ		●	●					
96			マヒワ		●						
97			イカル		●						
98			シメ		●	●					
99		ハタオリドリ科	スズメ	●	●	●					
100		ムクドリ科	コムクドリ			●					掲載種
101			ムクドリ		●	●					
102		カラス科	ミヤマガラス		●						
103			ハシボソガラス		●	●					
104			ハシブトガラス		●	●					
計	12目	35科	104種	16	80	70	0種	1種	9種	18種	17種

●印は、注1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）
- ②「平成22年度自然環境調査（鳥類、昆虫類及び貴重植物）委託 報告書」（平成23年3月 福岡市環境局）
- ③「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成27年10月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種

種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において以下の項目に選定されている種及び亜種

国内：国内希少野生動植物種…本邦における生息・生育状況が、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される種

環 RL：「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月 環境省）

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011 -植物群落・植物・鳥類・哺乳類-」（平成23年11月 福岡県）

EN：絶滅危惧 IB 類…IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）

掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

3) 両生類・爬虫類

事業実施区域周囲における両生類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-3 に示すとおりであり、1 目 3 科 3 種の両生類が確認されている。

事業実施区域周囲における爬虫類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-4 に示すとおり、2 目 7 科 7 種の爬虫類が確認されている。重要な種はニホンスッポンが確認された。

表 4.1.5-3 事業実施区域周囲の両生類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報告書				選定基準				
				①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	●		●	●					
2		アカガエル科	ウシガエル		●	●	●					
3		ヌマガエル科	ヌマガエル		●	●	●					
計	1 目	3 科	3 種	1	2	3	3	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種

●印は、注 1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注 1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
- ②「平成 19 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 20 年 3 月 福岡市環境局）
- ③「平成 24 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 25 年 3 月 福岡市環境局）
- ④「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 27 年 10 月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注 2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種
環 RL：「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月 環境省）
県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014 -爬虫類/両生類/魚類/昆虫類/貝類/甲殻類
その他/クモ形類等-」（平成 26 年 8 月 福岡県）
市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）

表 4.1.5-4 事業実施区域周囲の爬虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書				選 定 基 準				
				①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ				●					
2		ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		●	●	●					
3		スッポン科	ニホンスッポン				●			DD	DD	
-		-	カメ目				●					
4	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	●	●	●	●					
5		トカゲ科	ニホントカゲ				●					
6		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	●	●	●	●					
7		ナミヘビ科	シマヘビ	●			●					
計	2目	7科	7種	3	3	3	7	0種	0種	1種	1種	0種

●印は、注 1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注 1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
- ②「平成 19 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 20 年 3 月 福岡市環境局）
- ③「平成 24 年度 自然環境調査結果（ほ乳類・は虫類・両生類）」（平成 25 年 3 月 福岡市環境局）
- ④「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 27 年 10 月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注 2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種

種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種

環 RL：「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月 環境省）

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014 -爬虫類/両生類/魚類/昆虫類/貝類/甲殻類
その他/クモ形類等-」（平成 26 年 8 月 福岡県）

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）

4) 昆虫類

事業実施区域周囲における昆虫類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-5 に示すとおりであり、12 目 125 科 455 種の昆虫類が確認されている。重要な種は、ベニイトトンボやコムラサキ、ジュウサンホシテントウ等の 11 種が確認された。

表 4.1.5-5 (1) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種 の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	トンボ目（蜻蛉目）	イトトンボ科	ベニイトトンボ	●		●			NT		掲載種
2			アジアイトトンボ			●					
3			アオモンイトトンボ			●					
4				クロイトトンボ			●				
5		モノサシトンボ科	モノサシトンボ			●					
6		カワトンボ科	ハグロトンボ			●					
7		ヤンマ科	アオヤンマ	●					NT	VU	掲載種
8			ギンヤンマ			●					
9		サナエトンボ科	タイワンウチワヤンマ	●							掲載種
10		トンボ科	ショウジョウトンボ			●					
11			コフキトンボ			●					
12			ヨツボシトンボ			●					掲載種
13			ハラビロトンボ			●					
14			シオカラトンボ	●		●					
15			オオシオカラトンボ			●					
16			ウスバキトンボ	●		●					
17			コシアキトンボ			●					
18			チョウトンボ			●					
19			マユタテアカネ	●		●					
20			アキアカネ			●					
21				ノシメトンボ			●				
22	ゴキブリ目（網翅目）	ゴキブリ科	クロゴキブリ			●					
23		チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ			●					
24	カマキリ目（蟷螂目）	カマキリ科	ハラビロカマキリ			●					
25			チョウセンカマキリ			●					
26	ハサミムシ目（革翅目）	マルムネハサミムシ科	キアシハサミムシ			●					
27			ヒゲジロハサミムシ			●					
28		オオハサミムシ科	オオハサミムシ			●					
29	バッタ目（直翅目）	ツユムシ科	ツユムシ			●					
30			ヒメクダマキモドキ			●					
31		キリギリス科	ウスイロササキリ			●					
32			ホシササキリ			●					
33			クビキリギリス			●					
34			ニシキリギリス			●					
35		ケラ科	ケラ			●					
36		マツムシ科	ヒロバネカンタン			●					
37		コオロギ科	ハラオカメコオロギ			●					
38			クマコオロギ			●					
39			エンマコオロギ			●					
40			ツツレサセコオロギ			●					
41		カネタタキ科	カネタタキ			●					
42		ヒバリモドキ科	マダラスズ			●					
43			シバズ			●					
44			キアシヒバリモドキ			●					
45		バッタ科	ショウリョウバッタ			●					
46			マダラバッタ			●					
47			ヒナバッタ			●					
48			ショウリョウバッタモドキ			●					
49			トノサマバッタ	●		●					
50	イナゴ科	ハネナガイナゴ			●						
51		コバネイナゴ			●						
52		ツチイナゴ			●						
53	オンブバッタ科	オンブバッタ			●						
54	ヒシバッタ科	ハネナガヒシバッタ			●						
55		ハラヒシバッタ			●						
56	カメムシ目（半翅目）	ウンカ科	タテヤマヨシウンカ			●					
57			ヒメトビウンカ			●					
58			ホソミドリウンカ			●					
59			セジロウンカ			●					
60			コブウンカ			●					
61		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ			●					
62			トビイロハゴロモ			●					
63		ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ			●					
64			ヒメベッコウハゴロモ			●					
65		グンバイウンカ科	ミドリグンバイウンカ			●					
66			ヒラタグンバイウンカ			●					
67		セミ科	クマゼミ	●		●					
68			アブラゼミ	●		●					
69			ツクツクボウシ			●					
70			ニイニイゼミ			●					
71		ツノゼミ科	トビイロツノゼミ			●					
72		アワフキムシ科	イシダアワフキ			●					
73			ハマバアワフキ			●					
74			オカダアワフキ			●					

表 4.1.5-5 (2) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
75	カメムシ目（半翅目）	ヨコバイ科	ヒメアオズキンヨコバイ			●					
76			オオヨコバイ			●					
77			トガリヨコバイ			●					
78			ヨモギヒメヨコバイ			●					
79			クロミヤクイチモンジヨコバイ			●					
80			サジヨコバイ			●					
81			ヒシモンヨコバイ			●					
82			マエジロオオヨコバイ			●					
83			ムツテンヨコバイ			●					
84			ツマグロヨコバイ			●					
85			Pagaronia属			●					
86			シロミヤクイチモンジヨコバイ			●					
87			クロヒラタヨコバイ			●					
88			クロサジヨコバイ			●					
89			ズキンヨコバイ			●					
90		サシガメ科	ヨコヅナサシガメ			●					
91			モモブトトビイロサシガメ			●					
92			シマサシガメ			●					
93			ヤニサシガメ			●					
94		ゲンバユスデガ科	アワダチソウゲンバユスデガ			●					
95			コアカソゲンバユスデガ			●					
96			ヘクソカズラゲンバユスデガ			●					
97		ハナカメムシ科	クロハナカメムシ			●					
98			キモンクロハナカメムシ			●					
99			ツヤヒメハナカメムシ			●					
100			Orius属			●					
101		カスミカメムシ科	ナカグロカスミカメ			●					
102			Lygocoris属			●					
103			キアシクロホソカスミカメ			●					
104			クロヒョウタンカスミカメ			●					
105			フタトゲカスミカメ			●					
106			アカスジカスミカメ			●					
107			ケブカカスミカメ			●					
108			イネホソミドリカスミカメ			●					
109			ハネナガマキバサシガメ			●					
110			オオホシカメムシ科			●					
111		ホソヘリカメムシ科	フタモンホシカメムシ			●					
112			クモヘリカメムシ			●					
113		ヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ			●					
114			ホソヘリカメムシ			●					
115			ハリカメムシ			●					
116			ヒメトゲヘリカメムシ			●					
117			オオクモヘリカメムシ			●					
118			ホシハラヒロヘリカメムシ			●					
119			ツマキヘリカメムシ			●					
120			ミナミトゲヘリカメムシ			●					
121			スカシヒメヘリカメムシ			●					
122		ヒメヘリカメムシ科	アカヒメヘリカメムシ			●					
123			ブチヒメヘリカメムシ			●					
124		イトカメムシ科	イトカメムシ			●					
125			ナガカメムシ科			●					
126		ナガカメムシ科	ホソヒメヒラタナガカメムシ			●					
127			ヒメネジロツヤナガカメムシ			●					
128			ヒメオオメナガカメムシ			●					
129			オオメナガカメムシ			●					
130			Hidakacoris属			●					
131			サビヒョウタンナガカメムシ			●					
132			クロツヤナガカメムシ			●					
133			オオモンシロナガカメムシ			●					
134			ヒメナガカメムシ			●					
135			ヒゲナガカメムシ			●					
136			アカアシホソナガカメムシ			●					
137			ヒメジュウジナガカメムシ			●					
138			ツノカメムシ科			●					
139			ツチカメムシ科			●					
140			ツチカメムシ			●					
141		カメムシ科	マルツチカメムシ			●					
142			ウズラカメムシ			●					
143			ブチヒゲカメムシ			●					
144			ハナダカカメムシ			●					
145			キマダラカメムシ			●					
146			ヒメナガメ			●					
147			マルシラホシカメムシ			●					
148			シラホシカメムシ			●					
149			ツヤアオカメムシ			●					
150			アオクサカメムシ			●					
151			ツノアオカメムシ			●					
152			イチモンジカメムシ			●					

表 4.1.5-5 (3) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
153	カメムシ目（半翅目）	マルカメムシ科	マルカメムシ			●					
154		アメンボ科	アメンボ			●					
155			ヒメアメンボ			●					
156		イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ			●					
157		ミズギワカメムシ科	コミズギワカメムシ			●					
158			ウスイロミズギワカメムシ			●					
159	アミメカゲロウ目（脈翅目）	マツモムシ科	マツモムシ			●					
160		ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ			●					
161		ヒメカゲロウ科	Hemerobius属			●					
162		クサカゲロウ科	ヤマトクサカゲロウ			●					
163	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ			●					
-			Cheumatopsyche属			●					
164	チョウ目（鱗翅目）	ハマキガ科	ウスアトキハマキ			●					
165		セセリチョウ科	クロセセリ	●							掲載種
166			イチモンジセセリ	●		●					
167			チャバネセセリ			●					
168		マダラチョウ科	アサギマダラ			●					
169			ムラサキシジミ			●					
170		シジミチョウ科	ルリシジミ	●							
171			クロマダラソテツシジミ			●					
172			ウラギンシジミ			●					
173			ツバメシジミ			●					
174			ウラナミシジミ			●					
175			ベニシジミ			●					
176			ゴイシシジミ			●					
177			ヤマトシジミ本土亜種	●		●					
178		タテハチョウ科	コムラサキ			●					掲載種
179			ツマグロヒョウモン	●		●					
180			ゴマダラチョウ本土亜種			●					
181			タテハモドキ			●					
182			コミスジ			●					
183			キタテハ			●					
184			ヒメアカタテハ			●					
185			アカタテハ			●					
186		アゲハチョウ科	ミカドアゲハ本土亜種	●		●					掲載種
187			アオスジアゲハ	●		●					
188			カラスアゲハ本土亜種			●					
189			ナガサキアゲハ			●					
190		シロチョウ科	アゲハ			●					
191			モンキチョウ			●					
192			キタキチョウ	●		●					
193			モンシロチョウ			●					
194		ジャノメチョウ科	クロヒカゲ本土亜種			●					
195			ヒメジャノメ			●					
196			ヒメウラナミジャノメ	●		●					
197		ツトガ科	シロツトガ			●					
198			ヨシツトガ			●					
199			コブノメイガ			●					
200			キアヤヒメノメイガ			●					
201			ワモンノメイガ			●					
202			キバラノメイガ			●					
203			シバツトガ			●					
204			シロオビノメイガ			●					
205		メイガ科	アカマダラメイガ			●					
206		ジャクガ科	ユウマダラエダジャク			●					
207			ウスオエダジャク			●					
208			ウコンエダジャク			●					
209			ミジンキヒメジャク			●					
210			トビスジヒメナミジャク			●					
211			ウスキツバメエダジャク			●					
212			ナミスジチビヒメジャク			●					
213			コベニスジヒメジャク			●					
214		スズメガ科	ウンモンズズメ			●					
215			ホシホウジャク			●					
216		ドクガ科	チャドクガ			●					
217		ヤガ科	エゾギクキンウワバ			●					
218			オオバコヤガ			●					
219			オオタバコガ			●					
220			オオシラナミアツバ			●					
221			ウラジロアツバ			●					
222			キクギンウワバ			●					
223			オオウンモンクチバ			●					
224			アワヨトウ			●					
225			フタオビコヤガ			●					
226			ウンモンツマキリアツバ			●					
227			ギンモンアカヨトウ			●			VU		
228			スジキリヨトウ			●					
229			ハスモンヨトウ			●					
230		コブガ科	クロスジシロコブガ			●					

表 4.1.5-5 (4) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
231	ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	キイロホソガガンボ			●					
232			キリウジガガンボ			●					
233		トゲナシケバエ科	クロトゲナシケバエ			●					
234			ネグロミズアブ			●					
235		ムシヒキアブ科	アオメアブ			●					
236			ナミマガリケムシヒキ			●					
-			Neoitamus属			●					
237			シオヤアブ			●					
238			クロバネツリアブ			●					
239		ハナアブ科	ホソヒラタアブ			●					
240			シマハナアブ			●					
241			ナミハナアブ			●					
242			フタホシヒラタアブ			●					
243			ホシツヤヒラタアブ			●					
244			シマアシトハナアブ			●					
245			キアシマメヒラタアブ			●					
-			Paragus属			●					
246			オオハナアブ			●					
247			ホソヒメヒラタアブ			●					
248		キモグリバエ科	イネキモグリバエ			●					
249		ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ			●					
250		ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソバエ			●					
251		ミバエ科	タンボボハマダラミバエ			●					
252			ヨモギマルフシミバエ			●					
253			ネッタイヒメクロミバエ			●					
254			Trypeta属			●					
255		クロバエ科	ツマグロキンバエ			●					
256		ヤドリバエ科	マルボシヒラタヤドリバエ			●					
257	コウチュウ目（鞘翅目）	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ			●					
258			ミイデラゴミムシ			●					
259		オサムシ科	キイロチビゴモクムシ			●					
260			トグアトキリゴミムシ			●					
261			アオグロヒラタゴミムシ			●					
262			マルガタゴミムシ			●					
263			ナガマルガタゴミムシ			●					
264			オオホシボシゴミムシ			●					
265			キアシヌレチゴミムシ			●					
266			オオオサムシ			●					
267			ヒメオサムシ			●					
268			アカガネアオゴミムシ			●					
269			ヒメキベリアオゴミムシ			●					
270			セアカヒラタゴミムシ			●					
271			ケウスゴモクムシ			●					
272			ウスアカクロゴモクムシ			●					
273			アカアシマルガタゴモクムシ			●					
274			オオゴミムシ			●					
275			クロケブカゴミムシ			●					
276			オオヒラタゴミムシ			●					
277			オオナガゴミムシ			●					
278			オオクロナガゴミムシ			●					
279			ナガヒョウタンゴミムシ			●					
280			ミドリマメゴモクムシ			●					
281			クリイロロミズギワゴミムシ			●					
282		ハンミョウ科	コハンミョウ			●					
283		ゲンゴロウ科	セスジゲンゴロウ			●					
284			ハイイロゲンゴロウ			●					
285		ガムシ科	チビゲンゴロウ			●					
286			ゴマフガムシ			●					
287			セマルガムシ			●					
288			チビヒラタガムシ			●					
289			キイロヒラタガムシ			●					
290			コガムシ			●			DD	VU	
291		エンマムシ科	ヒメガムシ			●					
292			コエンマムシ			●					
293		シデムシ科	アラメエンマムシ			●					
294			オオヒラタシデムシ			●					
295		ハネカクシ科	ニセユミセミゾハネカクシ			●					
296			クロズトガリハネカクシ			●					
297			アカバホソハネカクシ			●					
298			アオバアリガタハネカクシ			●					
299			Philonthus属			●					
300			Stenus属			●					
301		マルハナノミ科	キムネマルハナノミ			●					
302			トビイロマルハナノミ			●					

表 4.1.5-5 (5) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報 告 書			選 定 基 準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
303	コウチュウ目（鞘翅目）	コガネムシ科	アオドウガネ			●					
304			オオサカスジコガネ			●				VU	
305			セマダラコガネ			●					
306			コアオハナムグリ			●					
307			クロコガネ			●					
308			オオクロコガネ			●					
309			アカビロウドコガネ			●					
310			ビロウドコガネ			●					
311			ヒラタハナムグリ			●					
312			コブマルエンマコガネ			●					
313			マメコガネ			●					
314			シロテンハナムグリ			●					
315		マルトグムシ科	シラフチビマルトグムシ			●					
316		ナガドロムシ科	タテスジナガドロムシ			●					
317		ナガハナノミ科	ヒゲナガハナノミ			●					
318		タマムシ科	Agrilus属			●					
319			クロケシタマムシ			●					
320			ホソツタマムシ			●					
321			クズノチビタマムシ			●					
322			ナミガタチビタマムシ			●					
323			サビキコリ			●					
324		コメツキムシ科	ヒメサビキコリ			●					
325			クロツヤクシコメツキ			●					
326			クシコメツキ			●					
327			マダラチビコメツキ			●					
328		ジョウカイボン科	セボシジョウカイ			●					
329		ジョウカイモドキ科	ヒロオビジョウカイモドキ			●					
330		デントウムシ科	カメノコテントウ			●					
331			ミスジキイロテントウ			●					
332			ムーアシロホシテントウ			●					
333			ヒメアカホシテントウ			●					
334			アカホシテントウ			●					
335			ナナホシテントウ			●					
336			フタモンクロテントウ			●					
337			ナミテントウ			●					
338			ニジウヤホシテントウ			●					
339			ジウサンホシテントウ			●					掲載種
340			キイロテントウ			●					
341			ヒメカメノコテントウ			●					
342			クモガタテントウ			●					
343			ベダリアテントウ			●					
344			ババヒメテントウ			●					
345			クロヘリヒメテントウ			●					
346			カワムラヒメテントウ			●					
347		ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ			●					
348		ケシキスイ科	モンチビヒラタケシキスイ			●					
349		アリモドキ科	ケオビアリモドキ			●					
350		ツチハンミョウ科	マメハンミョウ			●					
351		ハナノミ科	クロヒメハナノミ			●					
352		ゴミムシダマシ科	コスナゴミムシダマシ			●					
353			スジコガシラゴミムシダマシ			●					
354			アカバネツヤクチキムシ			●					
355			オオツヤホソゴミムシダマシ			●					
356		カミキリムシ科	ゴマダラカミキリ	●							
357			ユブスジサビカミキリ			●					
358			オオヨツスジハナカミキリ			●					
359			ニセリンゴカミキリ			●					
360			ラミーカミキリ			●					
361			キクスイカミキリ			●					
362			ヒメクロトラカミキリ			●					
363			アカバナカミナリハムシ			●					
364		ハムシ科	Altica属			●					
365			サメハダツブノミハムシ			●					
366			デントウノミハムシ			●					
367			ヒメデントウノミハムシ			●					
368			ウリハムシモドキ			●					
369			ウリハムシ			●					
370			クロウリハムシ			●					
371			アオバネサルハムシ			●					
372			アズキマメゾウムシ			●					
373			セモンジンガサハムシ			●					
374			カメノコハムシ			●					
375			ヨモギハムシ			●					
376			ヤナギハムシ			●					
377			クロボシツツハムシ			●					
378			タケトゲハムシ			●					
379			キバラヒメハムシ			●					
380			コガタルリハムシ			●					
381			ヨツモンカメノコハムシ			●					
382			ヨモギアシナガトビハムシ			●					
383			キアシノミハムシ			●					
384			ルイスケブカサルハムシ			●					
384			スイバトビハムシ			●					

表 4.1.5-5 (6) 事業実施区域周囲の昆虫類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報告書			選定基準				
				①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
385	コウチュウ目（鞘翅目）	ハムシ科	ヒメツヤハムシ			●					
386			ブタクサハムシ			●					
387			マルキバネサルハムシ			●					
388			アトボシハムシ			●					
389			タマアシトビハムシ			●					
390			サンゴジュハムシ			●					
391			ニレハムシ			●					
392			ドウガネサルハムシ			●					
393		ホソクチゾウムシ科	ヒゲナガホソクチゾウムシ			●					
394		オトシブミ科	クロケシツブチョッキリ			●					
395			ルリオトシブミ			●					
396		ゾウムシ科	エゾヒメゾウムシ			●					
397			オオタコゾウムシ			●					
398			コフキゾウムシ			●					
399			アルファルファタコゾウムシ			●					
400			Metialma属			●					
401			カシワノミゾウムシ			●					
402			アカアシノミゾウムシ			●					
403			オジロアシナガゾウムシ			●					
404			スグリゾウムシ			●					
405		オサゾウムシ科	シバオサゾウムシ			●					
406	ハチ目（膜翅目）	ミツシハバチ科	ルリチュウレンジ			●					
407		ハバチ科	オオツマグロハバチ			●					
408		ヒメバチ科	Coelichneumon属			●					
409			マダラヒメバチ			●					
410		アシブトコバチ科	Itoplectis属			●					
411			キアシブトコバチ			●					
412		アリ科	アシナガアリ			●					
413			オオハリアリ			●					
414			クロオオアリ			●					
415			ウメマツオオアリ			●					
416			ハリブトシリアゲアリ			●					
417			キイロシリアゲアリ			●					
418			テラニシリアゲアリ			●					
419			クロヤマアリ			●					
420			クロクサアリ			●					
421			トビイロケアリ			●					
422			クロヒメアリ			●					
423			ヒメアリ			●					
424			アメイロアリ			●					
425			アズマオオズアリ			●					
426			オオズアリ			●					
427			アミメアリ			●					
428			トフシアリ			●					
429			ムネボソアリ			●					
430			キイロオオシワアリ			●					
431			トビイロシワアリ			●					
432		ドロバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種			●					
433			キボシトックリバチ			●					
434		スズメバチ科	ミカドドロバチ本土亜種			●					
435			フタモンアシナガバチ本土亜種	●		●					
436			セグロアシナガバチ本土亜種			●					
437			キボシアシナガバチ			●					
438			キアシナガバチ本土亜種			●					
439			ヨガタスズメバチ			●					
440			オオスズメバチ			●					
441			キイロスズメバチ			●					
442		クモバチ科	オオシロフクモバチ			●					
443		ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ本土亜種			●					
444		ギンギバチ科	ヤマトコトガタバチ			●					
445		アナバチ科	ミカドジガバチ			●					
446			コクロアナバチ			●					
447			アメリカジガバチ			●					
448			クロアナバチ本土亜種			●					
449		ミツバチ科	ニホンミツバチ			●					
450			セイヨウミツバチ			●					
451			ヨマルハナバチ本土亜種			●					
452			シロスジヒゲナガハナバチ			●					
453			キムネクマバチ			●					
454		ヨハナバチ科	アカガネヨハナバチ			●					
455		ハキリバチ科	ツルガハキリバチ			●					
計	12目	125科	455種	20	0	449	0種	0種	4種	3種	8種

●印は、注 1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注 1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
- ②「平成 22 年度自然環境調査（鳥類、昆虫類及び貴重植物）委託 報告書」（平成 23 年 3 月 福岡市環境局）
- ③「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 27 年 10 月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注 2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種

種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において以下の項目に選定されている種及び亜種

環 RL：「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月 環境省）

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014－爬虫類/両生類/魚類/昆虫類/貝類/甲殻類その他/クモ形類等－」（平成 26 年 8 月 福岡県）

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）

掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

5) 魚類

事業実施区域周囲における魚類の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-6に示すとおりであり、9目19科45種の魚類が確認されている。重要な種はニッポンバラタナゴやドジョウ、ミナミメダカ等の8種が確認された。

表 4.1.5-6 事業実施区域周囲の魚類

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報告書				選定基準				
				①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	●			●			EN	EN	掲載種
2	ニシン目	ニシン科	サッパ				●					
3			コノシロ				●					
4		カタクチイワシ科	カタクチイワシ				●					
5	コイ目	コイ科	コイ		●	●	●					
6			コイ（飼育品種）			●						
7			ゲンゴロウブナ		●		●			(EN)		
8			ギンブナ				●					
9			ニッポンバラタナゴ	●						CR	EN	掲載種
10			オイカワ				●					
11			カワムツ				●					
12			モツゴ				●					
13			ムギツク				●					
14			タモロコ				●					
15			ゼゼラ				●			VU	NT	
16			カマツカ				●					
17			ツチフキ				●			EN	NT	
18			イトモロコ				●					
19	ナマズ目	ナマズ科	ドジョウ				●			DD	VU	掲載種
20	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ				●					
21	サケ目	アユ科	アユ	●							NT	掲載種
22	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ				●					
23	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	●			●			VU	NT	掲載種
24	スズキ目	スズキ科	スズキ			●	●					
25		シマイサキ科	シマイサキ		●		●					
26		サンフィッシュ科	ブルーギル				●					
27			オオクチバス				●					
28		ヒイラギ科	ヒイラギ				●					
29		タイ科	クロダイ				●					
30			キチヌ				●					
31		ボラ科	ボラ		●	●	●					
32			セスジボラ			●	●					
33		ドンコ科	ドンコ				●					
34		ハゼ科	ウキゴリ				●				DD	
35			ビリンゴ				●					
36			ウロハゼ			●	●					
37			マハゼ			●	●					
38			アジシロハゼ				●					
39			アベハゼ				●					
40			シマヨシノボリ		●							
41			旧トウヨシノボリ類				●					
42			ゴクラクハゼ				●					
43			チチブ				●					
44		タイワンドジョウ科	カムルチー				●					
45	フグ目	フグ科	ヒガンフグ				●					
46			クサフグ				●					
計	9目	19科	45種	4	5	7	42	0種	0種	6種	8種	5種

●印は、注1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

選定基準の () は、現地調査で確認された個体が植栽種や園芸種が逸出したものであると考えられるため、重要な種の対象外とする。

注1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）
- ②「平成18年度 自然環境調査委託（水生生物）報告書」（平成19年3月 福岡市環境局）
- ③「平成23年度 自然環境調査委託（水生生物）報告書」（平成24年3月 福岡市環境局）
- ④「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成27年10月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種

種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種

環RL：「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月 環境省）

CR：絶滅危惧 IA 類…ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
 EN：絶滅危惧 IB 類…IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
 VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種
 DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種
 県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014 -爬虫類/両生類/魚類/昆虫類/貝類/甲殻類
 その他/クモ形類等-」（平成 26 年 8 月 福岡県）
 EN：絶滅危惧 IB 類…IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
 VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種
 NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として
 上位ランクに移行する要素を有するもの
 DD：評価するだけの情報が不足している種
 市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成 19 年 2 月 福岡市環境局）
 掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

6) 底生動物

事業実施区域周囲における底生動物の生息状況については、福岡市が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-7 に示すとおりであり、5 門 10 綱 29 目 64 科 124 種の底生動物が確認されている。重要な種はマルタニシやモノアラガイ等の 8 種が確認された。

表 4.1.5-7 (1) 事業実施区域周囲の底生動物

No.	門 和名	綱 輪名	目 和名	科 和名	種 和名	報告書				選定基準				
						①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環境 RL	県RDB	市指針
1	扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ				●					
2					アメリカナミウズムシ				●					
3	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門				●					
4	軟体動物門	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシマキガイ				●					掲載種
5			原始紐舌目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ				●					
6				タニシ科	マルタニシ				●			VU	NT	掲載種
7			盤足目	カワニナ科	カワニナ				●					
8				カワザンショウガイ科	カワザンショウガイ				●					掲載種
9					カワザンショウガイ属				●					
10			基眼目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ				●				NT	NT
11					モノアラガイ				●					
12				サカマキガイ科	サカマキガイ				●					
13				ヒラマキガイ科	ヒラマキガイ属				●					
14		二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ			●	●					
15					コウロエンカワヒバリガイ			●	●					
16			カキ目	イタボガキ科	マカキ			●	●					
17					イタボガキ科			●	●					
18			マルスダレガイ目	カワホトトギス科	イガイダマシ			●	●					
19				シジミ科	シジミ属			●	●					
20	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ウロコムシ科	ウロコムシ属			●	●					
21				サシバゴカイ科	ホソミサシバ		●							
22				ゴカイ科	コケゴカイ				●					
23					ヒメヤマトカワゴカイ				●					
24					ヤマトカワゴカイ				●					
25					カワゴカイ属		●	●	●					
26					アシナガゴカイ				●					
27					イトメ				●				DD	
28			スピオ目	スピオ科	カギノテスピオ				●					
29					シノブハネエラスピオ				●					
30					ハネエラスピオ属				●					
31					Polydora属			●	●					
32					ヤマトスピオ			●	●					
33					ドロオニスピオ			●	●					
34					Pseudopolydora属		●		●					
35			イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ			●	●					
36					イトゴカイ属		●		●					
37			ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシゴカイ				●					
38			オヨギミズ目	オヨギミズ科	オヨギミズ科				●					
39			イトミミズ目	ミズミズ科	エラミミズ				●					
40					ユリミミズ属				●					
41					ミズミズ属				●					
42					ヨゴレミズミミズ				●					
43					ミズミズ科				●					
44			ツリミズ目	-	ツリミズ目				●					
45			ヒル綱	吻蛭目	ハラタビル科				●					
46					ハバヒロビル				●					
47					ヌマビル				●					
48					ハラタビル科				●					
49			吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル				●					
50					ナマイシビル				●					
51					ナガレビル科				●					
52					ヌマイシビル				●					
53	節足動物門	顎脚綱	フジツボ目	フジツボ科	タテジマフジツボ			●	●					
54					アメリカフジツボ		●		●					
55					ヨーロッパフジツボ				●					
56					フジツボ科				●					
57		軟甲綱	タナイス目	タナイス科	キスイタナイス属				●					
58					タナイス科		●		●					
59			ヨコエビ目	ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属				●					
60				ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ			●	●					
61				ドロクダムシ科	ドロクダムシ属		●	●	●					
62					アリアケドロクダムシ				●					
63					Monocorophium属				●					
64				カマカヨコエビ科	カマカヨコエビ属				●					
65				メリタヨコエビ科	ヒゲツノメリタヨコエビ				●					
66					シミズメリタヨコエビ				●					
67					メリタヨコエビ属				●					
68				ハマトビムシ科	ハマトビムシ科				●					
69					ミズムシ科 (甲)				●					
70				ミズムシ科 (甲)	ミズムシ (甲)				●					
71				コツブムシ科	イソコツブムシ属				●					
72				フナムシ科	フナムシ				●					
73			エビ目	クルマエビ科	ヨシエビ				●					
74					ヨシエビ属				●					
75					ミズレスマエビ				●					
76					カワリスマエビ属 ⁽⁴⁾				●					
77					スマエビ科				●					
78				テナガエビ科	テナガエビ				●					
79					ユビナガスジエビ				●					
80					スジエビ				●					
81					スジエビモドキ				●					
82					スジエビ属				●					
83				アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ				●					
84				ベンケイガニ科	クロベンケイガニ				●					
85				モクズガニ科	モクズガニ				●					
86					ケフサイソガニ				●					
87					タカノケフサイソガニ				●					
88		昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	コカゲロウ科	サホコカゲロウ				●					
89					コカゲロウ				●					
90					フタバカゲロウ属				●					
91					コバネヒゲトガリコカゲロウ				●					
92					ウデマカリコカゲロウ				●					

表 4.1.5-7 (2) 事業実施区域周囲の底生動物

No.	門 和 名	綱 輪 名	目 和 名	科 和 名	種 和 名	報告書				選定基準				
						①	②	③	④	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
75	節足動物門	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	イトトンボ科	アオモンイトトンボ属				●					
-					イトトンボ科				●					
76					カワトンボ科				●					
77					ヤンマ科				●					
78									●					
79					サナエトンボ科				●					
80					エゾトンボ科				●					
81					トンボ科				●					
82									●					
83									●					
84			カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	アメンボ				●					
85					ヒメアメンボ				●					
-					アメンボ科				●					
86				ミズムシ科（昆）	ハイイロチビミズムシ				●					
-					チビミズムシ属				●					
87					オモナガコミズムシ				●					VU
-					コミズムシ属				●					
88				マツモムシ科	コマツモムシ				●					
89				マルミズムシ科	マルミズムシ				●					
90			トビケラ目（毛翅目）	ムネカクトビケラ科	ムネカクトビケラ属				●					
91					ヒメトビケラ属				●					
92					ナガレトビケラ科				●					
-					ムナグロナガレトビケラ				●					
93			ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	ヒメガガンボ属				●					
94					ガガンボ属				●					
95				ユスリカ科	ダングラヒメユスリカ属				●					
96					クロユスリカ属				●					
97					ユスリカ属				●					
98					エダゲヒゲユスリカ属				●					
99					ツヤユスリカ属				●					
100					カマガタユスリカ属				●					
101					ホソミユスリカ属				●					
102					デンマクエリユスリカ属				●					
103					セボリユスリカ属				●					
104					コガタユスリカ属				●					
105					フトオヒゲユスリカ属				●					
106					エリユスリカ属				●					
107					ニセヒゲユスリカ属				●					
108					カワリユスリカ属				●					
109					ヤモンユスリカ				●					
-					ハモンユスリカ属				●					
110					ヒメエリユスリカ属				●					
111					ナガレツヤユスリカ属				●					
112					ナガレユスリカ属				●					
113					ヒゲユスリカ属				●					
114					イソユスリカ属				●					
-					モンユスリカ亜科				●					
-					ユスリカ科				●					
115				ミギワバエ科	ミギワバエ科				●					
116				ヤチバエ科	ヤチバエ科				●					
-				-	ハエ目（双翅目）				●					
117			コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ				●					
118					チビゲンゴロウ				●					
-					ゲンゴロウ科				●					
119				コツブゲンゴロウ科	コツブゲンゴロウ				●					
120					キイロヒラタガムシ				●					
121				ガムシ科	コガムシ				●				DD	VU
122					チビマルガムシ				●				DD	
123					マメガムシ				●					
124					ヒメガムシ				●					
計	5門	10綱	29目	64科	124種	0	7	11	120	0種	0種	3種	6種	3種

●印は、注1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生息が確認された種を示す。

注1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）
- ②「平成18年度 自然環境調査委託（水生生物）報告書」（平成19年3月 福岡市環境局）
- ③「平成23年度 自然環境調査委託（水生生物）報告書」（平成24年3月 福岡市環境局）
- ④「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成27年10月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注2) 選定基準：

- 天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種
- 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種
- 環 RL：「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月 環境省）
- DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種
- 県 RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014 -爬虫類/両生類/魚類/昆虫類/貝類/甲殻類
その他/クモ形類等-」（平成26年8月 福岡県）
- VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種
- DD：評価するだけの情報が不足している種
- 市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）
- 掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

(2) 植物

1) 植物相

事業実施区域周囲における植物種の生育状況については、福岡市等が実施した調査等がある。これらの概要は表 4.1.5-8 に示すとおりであり、121 科 684 種の植物種が確認されている。重要な種は、サンショウモやオニバス、ミズマツバ等の 16 種が確認された。

表 4.1.5-8 (1) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
1	トクサ科	スギナ			●					
2		イヌドクサ			●					
3	ハナヤスリ科	フユノハナワラビ			●					
4	ウラボシ科	コシダ			●					
5		ウラボシ			●					
6	フサシダ科	カニクサ			●					
7	コバノイシカグマ科	フモトシダ			●					
8		ワラビ			●					
9	ホングウシダ科	ホラシノブ			●					
10	ミズワラビ科	ホウライシダ			●					
11		ミズワラビ			●				EN	
12		タチシノブ			●					
13		イノモトソウ			●					
14	チャセンシダ科	トラノオシダ			●					
15	シシガシラ科	オオカグマ			●					
16	オシダ科	ハカタシダ			●					
17		オニカナワラビ			●					
18		オニヤブソテツ			●					
19		ヤブソテツ			●					
20		テリハヤブソテツ			●					
21		ベニシダ			●					
22		ギフベニシダ			●					
23		ナガバノイタチシダ			●					
24		オクマワラビ			●					
25		オオイタチシダ			●					
26		ヒメイタチシダ			●					
27		ヤマイタチシダ			●					
28		イノデ			●					
29		サイゴクイノデ			●					
30	ヒメシダ科	ミゾシダ			●					
31		ホシダ			●					
32		ヒメハシゴシダ			●					
33		イヌケホシダ			●					
34		ハシゴシダ			●					
35		コハシゴシダ			●					
36	メシダ科	イヌワラビ			●					
37	ウラボシ科	ヒカゲワラビ			●					
38		マメヅタ			●					
39	サンショウモ科	ノキシノブ			●					
40		サンショウモ			●			VU	CR	
41		アイノコオアアカウキクサ			●					
42		アカマツ			●					
43	スギ科	スギ			●					
44	ヒノキ科	ヒノキ			●				(NT)	
45		ハイビャクシン	●						CR	掲載種
46	マキ科	イヌマキ			●					
47	ヤマモモ科	ヤマモモ			●					
48	ヤナギ科	セイヨウハコヤナギ			●					
49		シダレヤナギ			●					
50		ジャヤナギ			●					
51		ウンリュウヤナギ			●					
52		オオタチヤナギ			●					
53		タチヤナギ			●					
54	カバノキ科	ハンノキ	●						EN	掲載種
55		オオバヤシヤブシ			●					
56	ブナ科	ツブラジイ			●					
57		スダジイ			●					
58		マテバシイ			●					
59		クヌギ			●					
60		ナラガシワ			●					
61		アラカシ			●					
62		シラカシ			●					
63		コナラ			●					

表 4.1.5-8 (2) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
64	ニレ科	ムクノキ			●					
65		エノキ			●					
66		アキニレ			●					
67	クワ科	ケヤキ			●					
68		クワクサ			●					
69		イヌビワ			●					
70		イタビカズラ			●					
71		オオイタビ			●					
72		カナムグラ			●					
73		ヤマグワ			●					
74	イラクサ科	ヤブマオ			●					
75		カラムシ			●					
76		ナンバンカラムシ			●					
77	タデ科	ミズヒキ			●					
78		ヒメツルソバ			●					
79		サクラタデ			●					
80		ヤナギタデ			●					
81		シロバナサクラタデ			●					
82		オオイヌタデ			●					
83		イヌタデ			●					
84		イシミカワ			●					
85		ホソバノウナギツカミ			●					
86		ボントクタデ			●					
87		ミゾソバ			●					
88		ハルタデ			●					
89		ミチヤナギ			●					
90		イタドリ			●					
91		スイバ			●					
92		ヒメスイバ			●					
93		アレチギンギシ			●					
94		ナガバギンギシ			●					
95		ギンギシ			●					
96		コギンギシ			●			VU	VU	掲載種
97		エゾノギンギシ			●					
98	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ			●					
99	オシロイバナ科	オシロイバナ			●					
100	ザクロソウ科	ザクロソウ			●					
101	スベリヒユ科	クルマバザクロソウ			●					
102		スベリヒユ			●					
103		ヒメマツバボタン			●					
104	ナデシコ科	ハゼラン			●					
105		ノミノツツリ			●					
106		オランダミミナグサ			●					
107		ヨツバハコベ			●					
108		ツメクサ			●					
109		ムシトリナデシコ			●					
110		シロバナマンテマ			●					
111		ノミノフスマ			●					
112		ウシハコベ			●					
113		コハコベ			●					
114	アカザ科	イヌコハコベ			●					
115		シロザ			●					
116		アカザ			●					
117		アリタソウ			●					
118		ウラジロアカザ			●					
119	ヒユ科	ホソバアカザ			●					
120		ヒカゲイノコズチ			●					
121		ヒナタイノコズチ			●					
122		ホソバツルノゲイトウ			●					
123		ホソアオゲイトウ			●					
124		イヌビユ			●					
125	マツバサ科	ホナガイヌビユ			●					
126		サネカズラ			●					
127		カゴノキ			●					
128		クスノキ			●					
129		ヤブニッケイ			●					
130		タブノキ			●					
131	キンボウゲ科	シロダモ			●					
132		ヒメウス			●					
133		センニンソウ			●					
134		ケキツネノボタン			●					
135		ウマノアシガタ			●					
136		トゲミノキツネノボタン			●					
137		タガラシ			●					
138		キツネノボタン			●					

表 4.1.5-8 (3) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
139	メギ科	ナンテン			●					
140	アケビ科	ミツバアケビ			●					
141		ムベ			●					
142	ツツラフジ科	アオツツラフジ			●					
143	スイレン科	オニバス	●					VU	EN	掲載種
144	マツモ科	マツモ			●					
145	ドクダミ科	ドクダミ			●					
146		ハンゲシヨウ			●					
147	センリョウ科	センリョウ			●					
148	ツバキ科	ヤブツバキ			●					
149		チャノキ			●					
150		ハマヒサカキ			●					
151		ヒサカキ			●					
152	オトギリソウ科	オトギリソウ			●					
153		ヒメオトギリ			●					
154		コケオトギリ			●					
155	ケシ科	ナガミヒナゲシ			●					
156	アブラナ科	ハルザキヤマガラシ			●					
157		セイヨウカラシナ			●					
158		ナズナ			●					
159		タネツケバナ			●					
160		ミチタネツケバナ			●					
161		カラクサナズナ			●					
162		マメグンバイナズナ			●					
163		オランダガラシ			●					
164		シヨカツサイ			●					
165		ミチバタガラシ			●					
166		イヌガラシ			●					
167		スカシタゴボウ			●					
168		イヌカキネガラシ			●					
169	ベンケイソウ科	コモチマンネングサ			●					
170		メキシコマンネングサ			●					
171		ツルマンネングサ			●					
172	トベラ科	トベラ			●					
173	バラ科	キンミズヒキ			●					
174		ノミノハゴロモグサ			●					
175		ヘビイチゴ			●					
176		ヤブヘビイチゴ			●					
177		ビワ			●					
178		ミツバツチグリ			●					
179		オヘビイチゴ			●					
180		オキジムシロ			●					
181		ケカマツカ			●					
182		ヤマザクラ			●					
183		トキワサンザシ			●					
184		シャリンバイ			●					
185		ノイバラ			●					
186		テリハノイバラ			●					
187		フユイチゴ			●					
188		クサイチゴ			●					
189		ナガバモミジイチゴ			●					
190		ナワシロイチゴ			●					
191		オオフユイチゴ			●					
192		ワレモコウ			●					
193		ユキヤナギ			●					
194	マメ科	クサネム			●					
195		ネムノキ			●					
196		イタチハギ			●					
197		ヤブマメ			●					
198		ゲンゲ			●					
199		アレチヌスビトハギ			●					
200		ヌスビトハギ			●					
201		ヤブハギ			●					
202		ノアズキ			●					
203		ツルマメ			●					
204		コマツナギ			●					
205		マルバヤハズソウ			●					
206		ヤハズソウ			●					
207		ヤマハギ			●					
208		メドハギ			●					
209		ハイメドハギ			●					
210		マルバハギ			●					
211		ツクシハギ			●					
212		ネコハギ			●					
213		セイヨウミヤコグサ			●					
214		ミヤコグサ			●					
215		ハネミイヌエンジュ			●					

表 4.1.5-8 (4) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
216	マメ科	コメツブウマゴヤシ			●					
217		コシナガワハギ			●					
218		ナツフジ			●					
219		クズ			●					
220		タンキリマメ			●					
221		ハリエンジュ			●					
222		クスダマツメクサ			●					
223		コメツブツメクサ			●					
224		ムラサキツメクサ			●					
225		シロツメクサ			●					
226		ヤハズエンドウ			●					
227		スズメノエンドウ			●					
228		カスマグサ			●					
229		ヤブツルアズキ			●					
230		ヤマフジ			●					
231		フジ			●					
232	カタバミ科	ベニカタバミ			●					
233		カタバミ			●					
234		アカカタバミ			●					
235		ムラサキカタバミ			●					
236		オッタチカタバミ			●					
237	フウロソウ科	アメリカフウロ			●					
238		ゲンノショウコ			●					
239	トウダイグサ科	エノキグサ			●					
240		ハイニシキソウ			●					
241		オオニシキソウ			●					
242		コニシキソウ			●					
243		アレチニシキソウ			●					
244		アカメガシワ			●					
245		ヒメミカンソウ			●					
246		ナガエコミカンソウ			●					
247		コミカンソウ			●					
248		ナンキンハゼ			●					
249	ユズリハ科	ヒメユズリハ			●					
250	ミカン科	カラスザンショウ			●					
251	ニガキ科	ニガキ			●					
252	センダン科	センダン			●					
253	ウルシ科	ヌルデ			●					
254		ハゼノキ			●					
255		ヤマハゼ			●					
256	カエデ科	トウカエデ			●					
257	モチノキ科	ナナミノキ			●					
258		イヌツゲ			●					
259		モチノキ			●					
260		クロガネモチ			●					
261	ニシキギ科	ツルウメモドキ			●					
262		マサキ			●					
263	ミツバウツギ科	ゴンズイ			●					
264	ブドウ科	ノブドウ			●					
265		ヤブガラシ			●					
266		ツタ			●					
267		エビヅル			●					
268	ホルトノキ科	ホルトノキ			●					
269	アオイ科	フヨウ			●					
270		ムクゲ			●					
271		アメリカキンゴジカ			●					
272	グミ科	ツルグミ			●					
273		ナワシログミ			●					
274	イイギリ科	クスドイゲ			●					
275	スミレ科	コスミレ			●					
276		ヒメスミレ			●					
-		スミレ属			●					
277	ミゾハコベ科	ミゾハコベ			●					
278	ウリ科	ゴキツル			●					
279		アマチャヅル			●					
280		カラスウリ			●					
281		キカラスウリ			●					
282	ミソハギ科	ナンゴクヒメミソハギ			●					
283		ホソバヒメミソハギ			●					
284		ヒメミソハギ			●					
285		ミズマツバ			●			VU	VU	
286	ヒシ科	ヒシ			●					

表 4.1.5-8 (5) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
287	アカバナ科	アメリカミズキンバイ			●					
288		チョウジタデ			●					
289		ミズユキノシタ			●					
290		メマツヨイグサ			●					
291		コマツヨイグサ			●					
292		ユウゲショウ			●					
293	ミズキ科	アオキ			●					
294		クマノミズキ			●					
295	ウコギ科	カクレミノ			●					
296		ヤツデ			●					
297		キツタ			●					
298		ハリギリ			●					
299		カミヤツデ			●					
300	セリ科	マツバゼリ			●					
301		ツボクサ			●					
302		ミツバ			●					
303		ノチドメ			●					
304		オオチドメ			●					
305		チドメグサ			●					
306		ウチワゼニクサ			●					
307		セリ			●					
308		ヤブニンジン			●					
309		オヤブジラミ			●					
310	ツツジ科	ネジキ			●					
311		シャシャンボ			●					
312	ヤブコウジ科	マンリョウ			●					
313		ヤブコウジ			●					
314	サクラソウ科	アカバナリハコベ			●					
315		ユナスビ			●					
316	カキノキ科	カキノキ			●					
317	エゴノキ科	ハクウンボク			●					
318	ハイノキ科	クロキ			●					
319		クロバイ			●					
320	モクセイ科	シマトネリコ			●					
321		ネズミモチ			●					
322		トウネズミモチ			●					
323		ヒイラギ			●					
324	リンドウ科	ハナハマセンブリ			●					
325		リンドウ	●						VU	掲載種
326		フデリンドウ			●					
327	キョウチクトウ科	サカキカズラ			●					
328		テイカカズラ			●					
329		ツルニチニチソウ			●					
330	ガガイモ科	ガガイモ			●					
331	アカネ科	ジュズネノキ			●					
332		オオフタバムグラ			●					
333		メリケンムグラ			●					
334		ヒメヨツバムグラ			●					
335		キクムグラ			●					
336		ヤエムグラ			●					
337		クチナシ			●					
338		ヘクソカズラ			●					
339		ハナヤエムグラ			●					
340		コヒルガオ			●					
341	ヒルガオ科	ヒルガオ			●					
342		アメリカネナシカズラ			●					
343		カロリナアオイゴケ			●					
344		マルバルコウ			●					
345		アメリカアサガオ			●					
346		マルバアメリカアサガオ			●					
347		マメアサガオ			●					
348		アサガオ			●					
349		ホシアサガオ			●					
350	ムラサキ科	ハナイバナ			●					
351		チシヤノキ			●					
352		キュウリグサ			●					
353	クマツヅラ科	ヤブムラサキ			●					
354		クサギ			●					
355		シチヘンゲ			●					
356		アレチハナガサ			●					
357		ヒメクマツヅラ			●					
358		ヒメビジョザクラ			●					
359	アワゴケ科	ミズハコベ			●					

表 4.1.5-8 (6) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
360	シソ科	トウバナ			●					
361		イヌトウバナ			●					
362		カキドオシ			●					
363		ホトケノザ			●					
364		ヒメオドリコソウ			●					
365		ハッカ			●					
366		マルバハッカ			●					
367		ヒメジソ			●					
368		イヌコウジュ			●					
369		アオジソ			●					
370		ウツボグサ			●					
371		ミゾコウジュ			●			NT	NT	掲載種
372	ナス科	クコ			●					
373		ワルナスビ			●					
374		ヒヨドリジョウゴ			●					
375		イヌホオズキ			●					
376		アメリカイヌホオズキ			●					
377	ゴマノハグサ科	アブノメ			●					
378		マツバウンラン			●					
379		スズメノトウガラシ (広義)			●					
380		ウリクサ			●					
381		タケトアゼナ			●					
382		アメリカアゼナ			●					
383		アゼトウガラシ			●					
384		アゼナ			●					
385		トキワハゼ			●					
386		セイヨウヒキヨモギ			●					
387		タチイヌノフグリ			●					
388		ムシクサ			●					
389		ケムシクサ			●					
390		オオイヌノフグリ			●					
391		カワヂシャ			●			NT	NT	掲載種
392	キツネノマゴ科	オギノツメ			●					
393		キツネノマゴ			●					
394		ヤナギバルイラソウ			●					
395	ハマウツボ科	ヤセウツボ			●					
396	オオバコ科	オオバコ			●					
397		ヘラオオバコ			●					
398		タチオオバコ			●					
399	スイカズラ科	キダチニンドウ			●					
400		スイカズラ			●					
401		ソクズ			●					
402		コバノガマズミ			●					
403		ハクサンボク			●					
404		サンゴジュ			●					
405	オミナエシ科	ノヂシャ			●					
406	キキョウ科	ミジカクシ			●					
407		ヒナキキョウソウ			●					
408		キキョウソウ			●					
409		ヒナギキョウ			●					
410	キク科	セイヨウノコギリソウ			●					
411		オオブタクサ			●					
412		ヒメヨモギ			●					
413		ヨモギ			●					
414		ノコンギク			●					
415		ヒロハホウキギク			●					
416		ホウキギク			●					
417		オケラ	●						EN	掲載種
418		アメリカセンダングサ			●					
419		コセンダングサ			●					
420		シロバナセンダングサ			●					
421		アワユキセンダングサ			●					
422		タウコギ			●					
423		コヤブタバコ			●					
424		トキンソウ			●					
425		ノアザミ			●					
426		アメリカオニアザミ			●					
427		アレチノギク			●					
428		オオアレチノギク			●					
429		オオキンケイギク			●					
430		ハルシャギク			●					

表 4.1.5-8 (7) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
431	キク科	キバナコスモス			●					
432		マメカミツレ			●					
433		ベニバナボロギク			●					
434		アメリカタカサブロウ			●					
435		ヒメムカシヨモギ			●					
436		ペラペラヨメナ			●					
437		ハルジオン			●					
438		ケナシヒメムカシヨモギ			●					
439		ツワブキ			●					
440		ハキダメギク			●					
441		ハハコグサ			●					
442		タチチチコグサ			●					
443		チチコグサ			●					
444		セイタカハハコグサ			●					
445		チチコグサモドキ			●					
446		ウスベニチチコグサ			●					
447		ウラジロチチコグサ			●					
448		キクイモ			●					
449		キツネアザミ			●					
450		ブタナ			●					
451		オオデシバリ			●					
452		ニガナ			●					
453		オオユウガギク			●					
454		ヨメナ			●					
455		アキノノゲシ			●					
456		ホソバアキノノゲシ			●					
457		トゲチシャ			●					
458		ムラサキニガナ			●					
459		コオニタビラコ			●					
460		ヤブタビラコ			●					
461		アラゲハンゴンソウ			●					
462		ノボロギク			●					
463		セイタカアワダチソウ			●					
464		メリケントキンソウ			●					
465		オニノゲシ			●					
466		ノゲシ			●					
467		ヌマツルギク			●					
468		ヒメジョオン			●					
469		ヘラバヒメジョオン			●					
470		アカミタンポポ			●					
471		セイヨウタンポポ			●					
472		オオオナモミ			●					
473		オニタビラコ			●					
474	トチカガミ科	オオカナダモ			●					
475	ヒルムシロ科	エビモ			●					
476		ヤナギモ			●					
477	ユリ科	ノビル			●					
478		ニラ			●					
479		ハラシ			●					
480		ハナニラ			●					
481		ノカンゾウ			●					
482		タカサゴユリ			●					
483		ヤブラン			●					
484		ジャノヒゲ			●					
485		ナガバジャノヒゲ			●					
486		オオバジャノヒゲ			●					
487		オモト			●					
488		ツルボ			●					
489	ヒガンバナ科	サルトリイバラ			●					
490		ヒガンバナ			●					
491	ヤマノイモ科	タマスダレ			●					
492		ナガイモ			●					
493		ニガカシユウ			●					
494		タチドコロ			●					
495		ヤマノイモ			●					
496		ヒメドコロ			●					
497	ミズアオイ科	オニドコロ			●					
498		ホテイアオイ			●					
499	アヤメ科	コナギ			●					
500		キショウブ			●					
501		ニワゼキショウ			●					
502		オオニワゼキショウ			●					
503		アキマルニワゼキショウ			●					
504		ヒメヒオウギズイセン			●					

表 4.1.5-8 (8) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
505	イグサ科	ハナビゼキショウ			●					
506		ヒメコウガイゼキショウ			●				VU	掲載種
507		イ			●					
508		コウガイゼキショウ			●					
509		ホソイ			●					
510		クサイ			●					
511		ハリコウガイゼキショウ			●					
512		スズメノヤリ			●					
513	ツユクサ科	マルバツユクサ			●					
514		ツユクサ			●					
515		ヤブミョウガ			●					
516		ムラサキゴテン			●					
517		ノハカタカラクサ			●					
518	イネ科	ミズタカモジ			●			VU	CR	
519		アオカモジグサ			●					
520		タチカモジグサ			●					
521		カモジグサ			●					
522		コスカグサ			●					
523		ヤマスカボ			●					
524		ヌカボ			●					
525		ヌカススキ			●					
526		ハナヌカススキ			●					
527		ヒメヌカススキ			●					
528		ノハラスズメノテッポウ			●					
529		スズメノテッポウ			●					
530		セトガヤ			●					
531		メリケンカルカヤ			●					
532		コブナグサ			●					
533		トダシバ			●					
534		カラスムギ			●					
535		ホソバツルメヒシバ			●					
536		ミノゴメ			●					
537		ヤマカモジグサ			●					
538		コバンソウ			●					
539		ヒメコバンソウ			●					
540		イヌムギ			●					
541		ムクゲチャヒキ			●					
542		スズメノチャヒキ			●					
543		キツネガヤ			●					
544		ヤマアワ			●					
545		ジュズダマ			●					
546		ギョウギシバ			●					
547		カモガヤ			●					
548		カタボウシノケグサ			●					
549		メヒシバ			●					
550		コメヒシバ			●					
551		アキメヒシバ			●					
552		イヌビエ			●					
553		ケイヌビエ			●					
554		タイヌビエ			●					
555		ヒメイヌビエ			●					
556		オヒシバ			●					
557		スズメガヤ			●					
558		シナダレスズメガヤ			●					
559		カゼクサ			●					
560		ニワホコリ			●					
561		オオニワホコリ			●					
562		コスズメガヤ			●					
563		オニウシノケグサ			●					
564		トボシガラ			●					
565		コバノウシノシッペイ			●					
566		オオムギ			●					
567		チガヤ			●					
568		チゴザサ			●					
569		ミノボロモドキ			●					
570		アゼガヤ			●					
571		ネズミムギ			●					
572		ボウムギ			●					
573		ササクサ			●					
574		ミノボロ			●					
575		ササガヤ			●					

表 4.1.5-8 (9) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
576	イネ科	ヒメアシボソ			●					
577		アシボソ			●					
578		トキワススキ			●					
579		オギ			●					
580		ススキ			●					
581		ケチヂミザサ			●					
582		コチヂミザサ			●					
583		ヌカキビ			●					
584		オオクサキビ			●					
585		スズメノナギナタ			●					
586		シマスズメノヒエ			●					
587		キシュウスズメノヒエ			●					
588		チクゴスズメノヒエ			●					
589		アメリカスズメノヒエ			●					
590		スズメノヒエ			●					
591		タチスズメノヒエ			●					
592		チカラシバ			●					
593		クサヨシ			●					
594		オオアワガエリ			●					
595		ヨシ			●					
596		ツルヨシ			●					
597		マダケ			●					
598		ハチク			●					
599		モウソウチク			●					
600		ネザサ			●					
601		メダケ			●					
602		ミゾイチゴツナギ			●					
603		タマミゾイチゴツナギ			●					
604		スズメノカタビラ			●					
605		ツクシスズメノカタビラ			●					
606		ナガハグサ			●					
607		イチゴツナギ			●					
608		タマオオスズメノカタビラ			●					
609		ヒエガエリ			●					
610		ハマヒエガエリ			●					
611		ハイヌメリ			●					
612		ヌメリグサ			●					
613		アキノエノコログサ			●					
614		コツブキンエノコロ			●					
615		キンエノコロ			●					
616		エノコログサ			●					
617		カタバエノコロ			●					
618		セイバンモロコシ			●					
619		ネズミノオ			●					
620		カニツリグサ			●					
621		ナギナタガヤ			●					
622		オオナギナタガヤ			●					
623		ムラサキナギナタガヤ			●					
624		マコモ			●					
625		シバ			●					
626		コウライシバ			●					
627	ヤシ科	シュロ			●					
628	サトイモ科	ショウブ			●					
629		カラスビシャク			●					
630	ウキクサ科	アオウキクサ			●					
631		ウキクサ			●					
632		ミジンコウキクサ			●					
633	ガマ科	ヒメガマ			●					
634		ガマ			●					
635		コガマ	●		●				VU	掲載種
636	カヤツリグサ科	ウキヤガラ			●					
637		エゾウキヤガラ			●					
638		ツクシミノボロスゲ			●					
639		アゼナルコ			●					
640		マスクサ			●					
641		ジュズゲ			●					
642		ナキリスゲ			●					
643		アオスゲ			●					
644		タチスゲ			●					
645		フサスゲ			●					
646		シバスゲ			●					
647		ヤワラスゲ			●					
648		シュロガヤツリ			●					
649		チャガヤツリ			●					
650		アイダクグ			●					

表 4.1.5-8 (10) 事業実施区域周囲の植物

No.	科和名	種和名	報告書			選定基準				
			①	②	③	天然 記念物	種の 保存法	環RL	県RDB	市指針
651	カヤツリグサ科	ヒメクグ			●					
652		クグガヤツリ			●					
653		イヌクグ			●					
654		タマガヤツリ			●					
655		メリケンガヤツリ			●					
656		ショクヨウガヤツリ			●					
657		ヒナガヤツリ			●					
658		アゼガヤツリ			●					
659		コアゼガヤツリ			●					
660		コゴメガヤツリ			●					
661		カヤツリグサ			●					
662		アオガヤツリ			●					
663		オニガヤツリ			●					
664		イガガヤツリ			●					
665		ヒメミクリガヤツリ			●					
666		ハマスゲ			●					
667		カワラスガナ			●					
668		ミズガヤツリ			●					
669		クグテンツキ			●					
670		テンツキ			●					
671		クロテンツキ			●					
672		ヒデリコ			●					
673		ハタケテンツキ	●					EN		掲載種
674		ヤマイ			●					
675		イヌホタルイ			●					
676		フトイ			●					
677		カンガレイ			●					
678		サンカクイ			●					
679	ショウガ科	ミョウガ			●					
680	ラン科	シラン			●			(NT)	(NT)	
681		シュンラン			●					
682		コ克蘭			●					
683		ニラバラン			●				DD	
684		ネジバナ			●					
計	121科	684種	7	0	679	0種	0種	8種	15種	11種

●印は、注1) に示す報告書等により事業実施区域周囲において生育が確認された種を示す。

選定基準の () は、現地調査で確認された個体が植栽種や園芸種が逸出したものであると考えられるため、重要な種の対象外とする。

注1) 報告書等：

- ①「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）
- ②「平成22年度自然環境調査（鳥類、昆虫類及び貴重植物）委託 報告書」（平成23年3月 福岡市環境局）
- ③「福岡空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成27年10月 国土交通省九州地方整備局 国土交通省大阪航空局）

注2) 選定基準：

天然記念物：「文化財保護法」及び「文化財保護条例」により、保護されている種及び亜種

種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種及び亜種

環RL：「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月 環境省）

EN：絶滅危惧 IB 類…IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

県RDB：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011 -植物群落・植物・鳥類・哺乳類-」（平成23年11月 福岡県）

CR：絶滅危惧 IA 類…ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN：絶滅危惧 IB 類…IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧 II 類…絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

DD：情報不足…評価するだけの情報が不足している種

市指針：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市環境局）

掲載種：市内の貴重・希少生物種等のリスト掲載種

2) 植生

事業実施区域周囲の植生の状況は、図 4.1.5-1 に示すとおりである。

事業実施区域周囲には平野の市街地や工場地帯等の人工的な土地被覆が広く分布し、コンクリート護岸等を施された都市内河川が流下している。都市計画対象道路事業実施区域の東側の丘陵地である東平尾公園一帯にシイ・カシ二次林やアカマツ群落からなる樹林がパッチ状に分布するほか、開発により造成された緑の多い住宅地等が一部分布している。

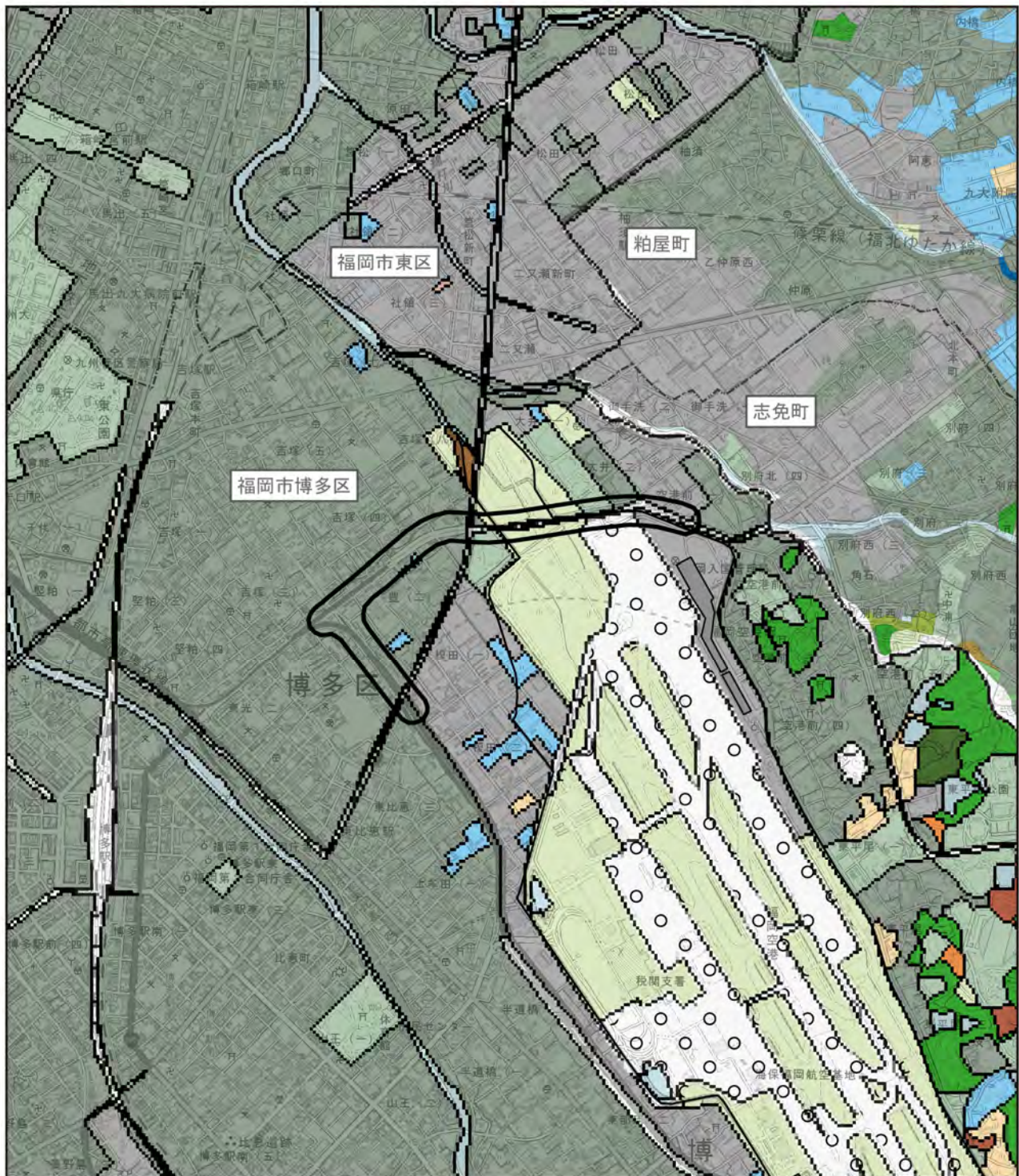


図 4.1.5-1 現存植生図

凡 例

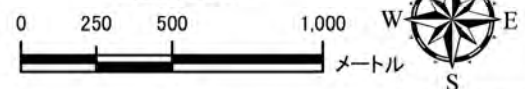
- 都市計画対象道路事業実施区域
- 国内線旅客ターミナル
- 福岡空港
- 市町村界
- 区界

- シイ・カシ二次林
- アベマキ群落
- アカメガシワ・カラスザンショウ群落
- アカマツ群落 (VII)
- ヨシクラス
- その他植林
- 竹林
- 路傍・空地雑草群落

- 畑地雑草群落
- 水田雑草群落
- 市街地
- 緑の多い住宅地
- 工場地帯
- 造成地
- 開放水域

出典: 「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生図 福岡」
 (平成12年度 環境省)
 「平成25年度 自然環境調査(植生)委託報告書」
 (平成26年3月 福岡市)

1:25,000



(3) 生態系

事業実施区域周囲の生物が生育・生息する基盤環境について地形・地質、土壌、植生、土地利用形態等の観点から、表 4.1.5-9 に示すとおり類型区分を行った。

事業実施区域周囲は広く分布する平野の市街地、丘陵地の二次林・公園、湿生草地、都市内河川に大別でき、各環境類型の代表的な生物種は表 4.1.5-10 に示すとおりである。

表 4.1.5-9 事業実施区域周囲の自然環境の類型区分

類型区分	地形区分	地質区分	土壌区分	植生区分
平野の市街地	平野	砂・泥・礫	市街地その他	市街地、工場地帯
丘陵地の二次林・公園	丘陵地	砂岩、シルト岩、黒雲母花崗岩	乾性褐色森林土、褐色森林土	シイ・カシ二次林、アカマツ群落、竹林
湿生草地	平野	砂・泥・礫	市街地その他	路傍・空地雑草群落
都市内河川	河川	－	－	－

表 4.1.5-10 事業実施区域周囲の環境類型ごとの代表的な生物種

	平野の市街地	丘陵地の二次林・公園	湿生草地	都市内河川
植物	植栽	シイ・カシ二次林、アカマツ群落、竹林	湿生植生	－
哺乳類、両生・爬虫類	イタチ属、ノネコ	ホンダタヌキ、ニホンカナヘビ	ヌマガエル	－
鳥類	スズメ、ドバト、ツバメ	ヒヨドリ、コゲラ	コサギ	－
昆虫類	クマゼミ、ヤマトシジミ本土亜種	アオスジアゲハ、ニイニイゼミ	ウスバキトンボ、ハラビロトンボ	－
底生動物	－	－	－	テナガエビ
魚類	－	－	－	メダカ、コイ、ギンブナ

4.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

(1) 景観

1) 主要な眺望点の状況

事業実施区域周囲において都市計画対象道路事業実施区域を見渡すことができ、かつ、「不特定多数の者が利用している景観資源を眺望する場所」である眺望点は、表 4.1.6-1 及び図 4.1.6-1 に示すとおりである。

表 4.1.6-1 事業実施区域周囲の主要な眺望点

番号	名称	都市計画対象道路事業実施区域からの 距離
1	福岡県庁展望室	約 1,400m
2	東平尾公園（貝花展望台）	約 2,400m
3	東平尾公園（アクション福岡）	約 2,500m
4	福岡空港国内線展望室・送迎デッキ	約 1,500m
5	福岡空港国際線送迎デッキ	約 400m

出典：「福岡観光地検索」（福岡県観光情報 クロスロードふくおか ホームページ，
<http://www.crossroadfukuoka.jp/>）

2) 景観資源の状況

事業実施区域周囲における主な景観資源は、表 4.1.6-2 に示すとおりであり、その位置は図 4.1.6-1 に示すとおりである。

事業実施区域周囲には「第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書」(平成元年 環境庁)により自然的構成要素として位置づけられる主な景観資源は確認されていない。

また、自然景観、歴史・文化の分野における福岡県の観光地として、国、福岡県、福岡市指定の史跡が点在している。

表 4.1.6-2 事業実施区域周囲の主な景観資源

番号	名称	指定・種別
A	金隈遺跡	国指定・史跡
B	板付遺跡	国指定・史跡
C	福岡藩主黒田家墓所	市指定・史跡
D	福岡藩主黒田家墓所	市指定・史跡
E	聖福寺境内	国指定・史跡
F	比恵遺跡	国指定・史跡
G	枯野塚 附 哺川墓, 句碑, 寄付碑	県指定・史跡
H	比恵遺跡群	県指定・史跡
I	東光院境内	市指定・史跡
J	那珂八幡古墳	市指定・史跡
K	那珂遺跡	市指定・史跡

出典：「平成 27 年度版 教育要覧」(平成 27 年 10 月 福岡市教育委員会)

「福岡市の文化財」(福岡市経済観光文化局ホームページ, <http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>)

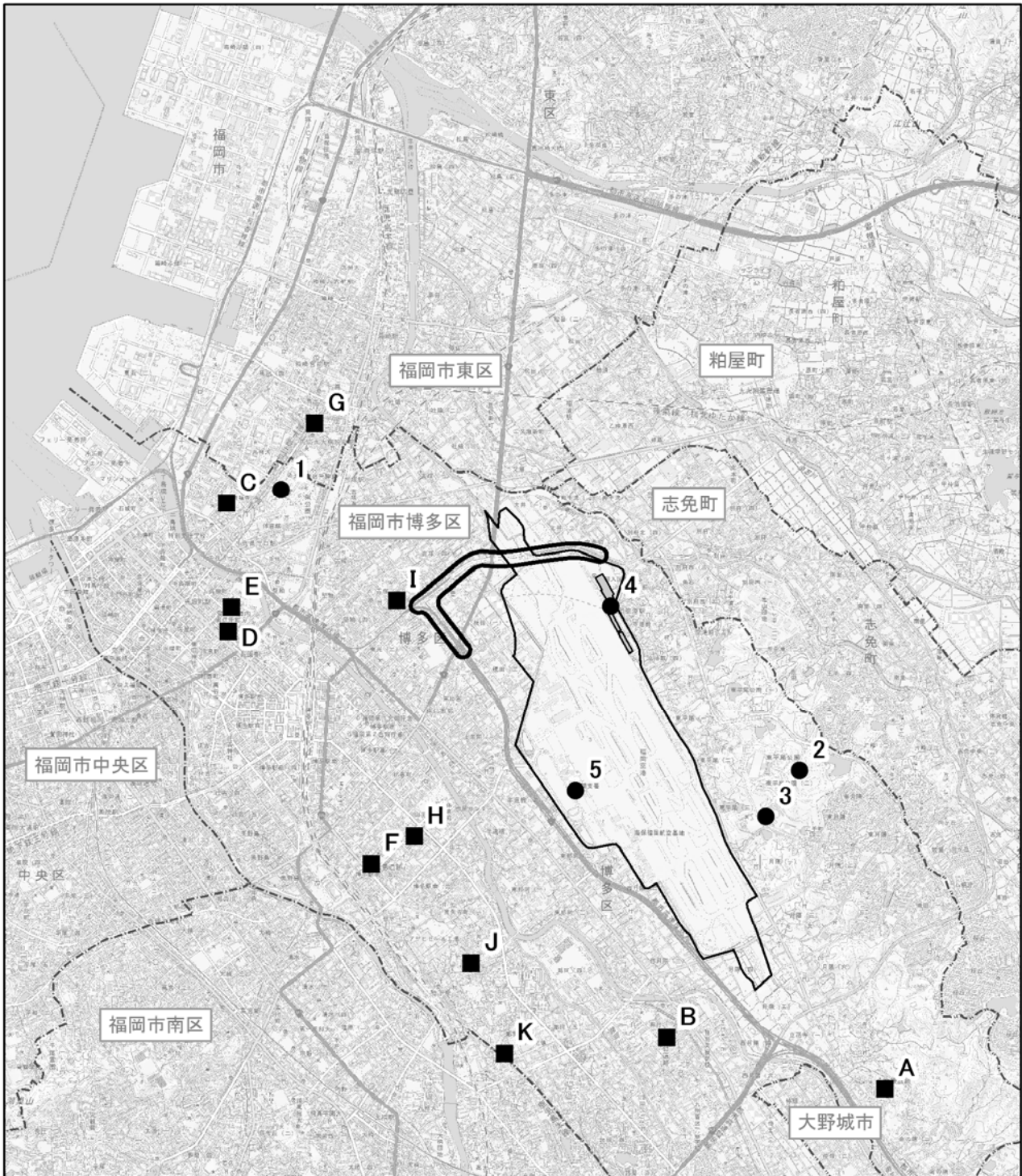
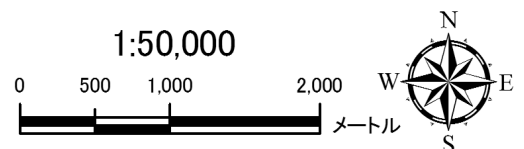


図 4.1.6-1 主要な眺望地点及び主な景観資源位置図

凡 例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 国内線旅客ターミナル
- 福岡空港
- 市町村界
- 区界
- 主要な眺望点
- 主な景観資源

出典：「福岡観光地検索」(福岡県観光情報 クロスロードふくおか ホームページ)
「平成27年度版 教育要覧」(平成27年10月 福岡市教育委員会)
「福岡市の文化財」(福岡市経済観光文化局ホームページ)



(2) 人と自然との触れ合いの活動の場

事業実施区域周囲における主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、表 4.1.6-3 に示すとおりであり、その位置は図 4.1.6-2 に示すとおりである。

事業実施区域周囲には、自然のままの丘陵や池，樹林を活用した，市民に「博多の森」の愛称で親しまれている東平尾公園，運動施設を備えている榎田中央公園や大井中央公園などが位置している。また，地元を中心に利用されている緑地が存在する。

表 4.1.6-3 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

種類	番号	名称
公園・緑地	1	県営東公園
	2	東平尾公園
	3	道園緑地
	4	空港前1号緑地
	5	上臼井緑地
	6	東吉塚1号緑地
	7	下臼井緑地(下臼井公園含む)
	8	榎田中央公園
	9	大井中央公園

出典：「福岡県の公園緑地」(福岡県ホームページ,
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/f13/fukuokakennnokouenryokuchi.html>)
「福岡観光地検索」(福岡県観光情報 クロスロードふくおか ホームページ,
<http://www.crossroadfukuoka.jp/>)
「福岡・博多の観光案内」(よかなびWEB ホームページ,
<http://www.yokanavi.com/jp>)
「公園・施設検索」(公益財団法人 緑のまちづくり協会ホームページ,
<http://www.midorimachi.jp/>)

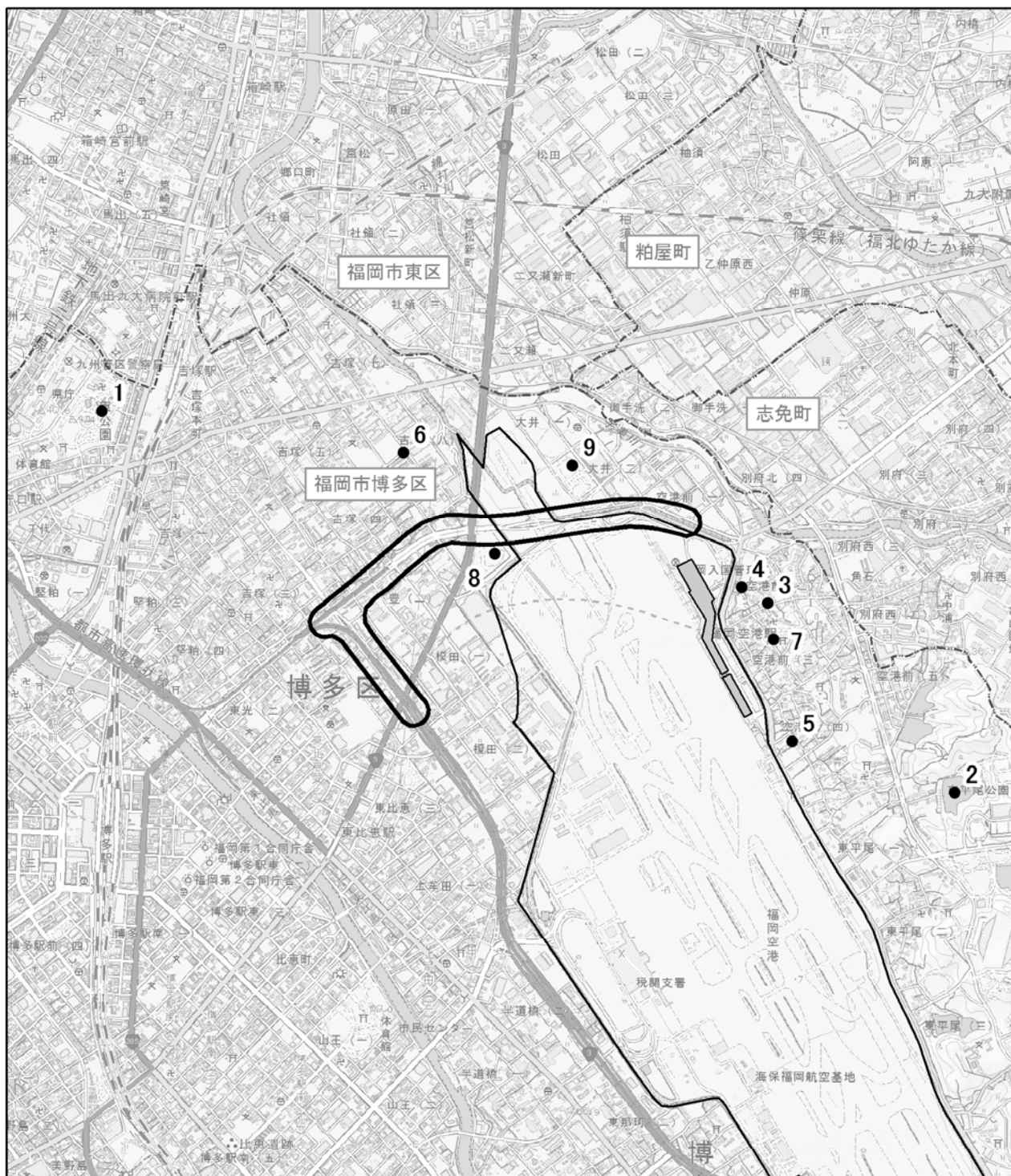


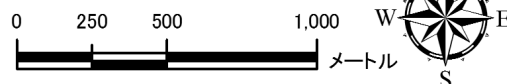
図 4.1.6-2 主要な人と自然との触れ合いの活動の場位置図

凡 例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 国内線旅客ターミナル
- 福岡空港
- 市町村界
- 区界
- 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

出典：「福岡県の公園緑地」(福岡県ホームページ)
「福岡観光地検索」(福岡県観光情報 クロスロードふくおか ホームページ)
「福岡・博多の観光案内」(よかなびWEB ホームページ)
「公園・施設検索」(公益財団法人 緑のまちづくり協会ホームページ)

1:25,000



4.1.7 一般環境中の放射線物質の状況

(1) 空間放射線量率の状況

空間放射線量率（対象とする空間の単位時間当たりの放射線量）の状況については、平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故以降、全国においてモニタリングポストが増設され、継続的にモニタリングがなされている。これらのモニタリングポストにおける空間放射線量率の測定結果は、原子力規制委員会のホームページのほか、福岡県のホームページで公開されている。福岡市では市内9ヶ所で季節ごとに測定しており、福岡市のホームページで公開されている。

事業実施区域周囲における空間放射線量率の測定場所の位置は、図4.1.7-1に示すとおりである。また、福岡市内の測定場所における空間放射線量率の平成27年の測定結果は、表4.1.7-1に示すとおりである。

各測定局における空間放射線量率は0.05～0.10 μ Sv/時である。また、事業実施区域周囲の測定場所である吉塚局（東吉塚小学校校庭）における空間放射線量率は0.06～0.07 μ Sv/時、福岡県庁モニタリングポストにおける空間放射線量率は0.06 μ Sv/時となっており、各測定場所における測定結果の範囲内となっている。

表 4.1.7-1 福岡市内の空間放射線量率の測定結果（平成27年）

測定場所	測定結果（ μ Sv/時）			
	3月	6月	9月	12月
吉塚局 （東吉塚小学校校庭）	0.07	0.07	0.06	0.06
香椎局 （香住ヶ丘小学校校庭）	0.08	0.08	0.08	0.08
東局 （箱崎中学校校庭）	0.07	0.10	0.06	0.07
市役所局 （市役所西側広場）	0.06	0.06	0.05	0.06
市保健環境研究所 （正面玄関前）	0.07	0.08	0.07	0.07
南局 （塩原小学校校庭）	0.07	0.06	0.06	0.07
長尾局 （長尾小学校校庭）	0.07	0.07	0.07	0.07
祖原局 （高取公園）	0.07	0.07	0.06	0.06
元岡局 （元岡中学校校庭）	0.08	0.07	0.08	0.07
福岡県庁 モニタリングポスト	(0.06)	(0.06)	(0.06)	(0.06)
年平均値 0.06				

注1) 空間放射線量率：対象とする空間の単位時間当たりの放射線量を空間放射線量率という。

注2) 福岡県庁モニタリングポストの測定値は、福岡県による測定であり、1年を通して24時間連続で自動計測されている。当該月の平均値と年平均値を示す。

注3) 福岡県庁モニタリングポスト以外の測定値は、福岡市による測定であり、当該月の1日の測定測定である。

注4) μ Sv/時：マイクロシーベルト/時間（1mSv=1,000 μ Sv）

出典：「空間放射線量の調査結果」（福岡市ホームページ、
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/houshasen.html>）
「ふくおか放射線・放射能情報サイト」（<http://houshasen.pref.fukuoka.lg.jp/>）
「放射線モニタリング情報」（<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>）

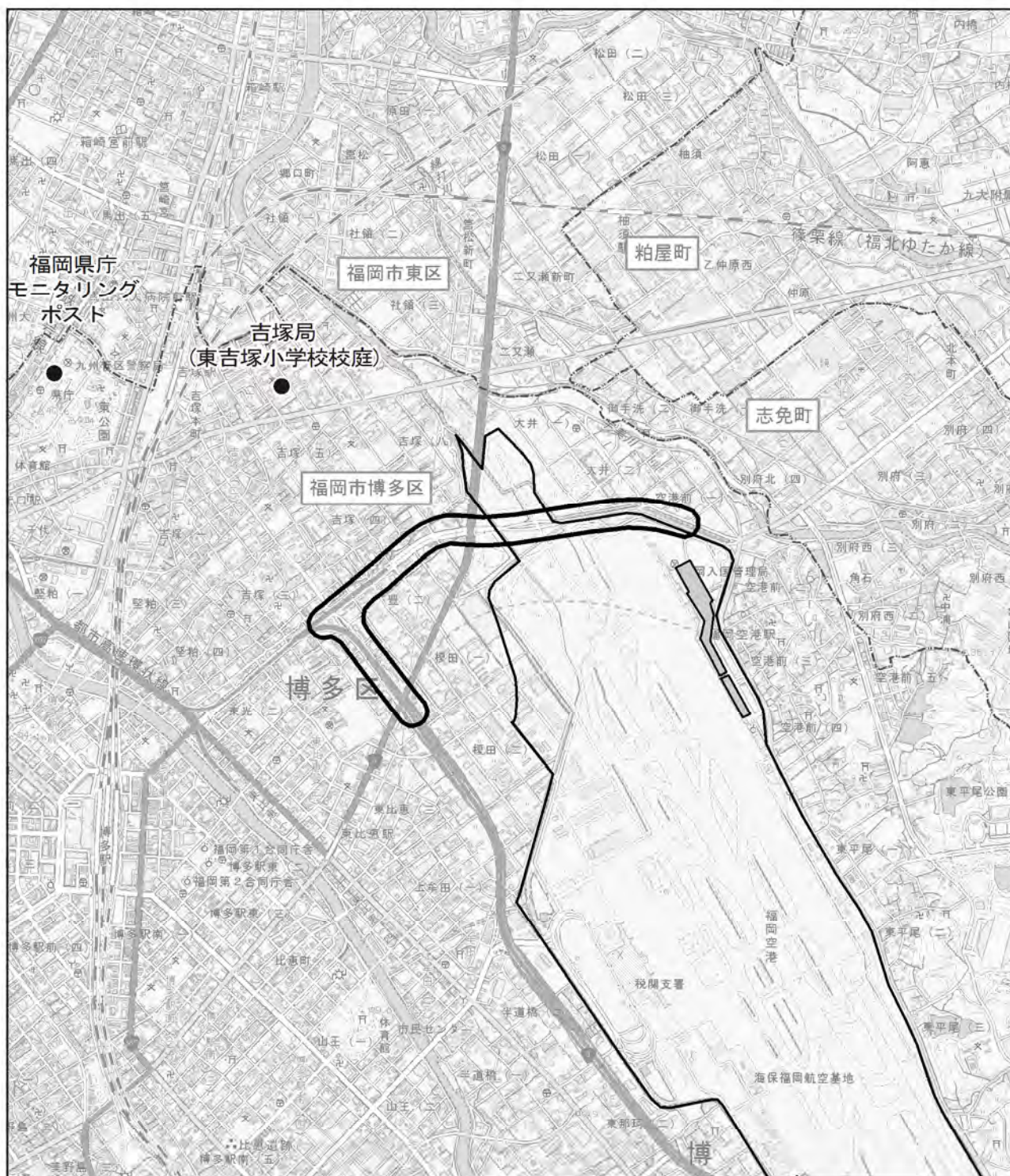


図 4.1.7-1 空間放射線量率の測定場所

凡 例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 国内線旅客ターミナル
- 福岡空港
- 市町村界
- 区界
- 空間放射線量率の測定場所

出典:「空間放射線量の調査結果」(福岡市ホームページ)
「ふくおか放射線・放射能情報サイト」(<http://houshasen.pref.fukuoka.lg.jp/>)

